

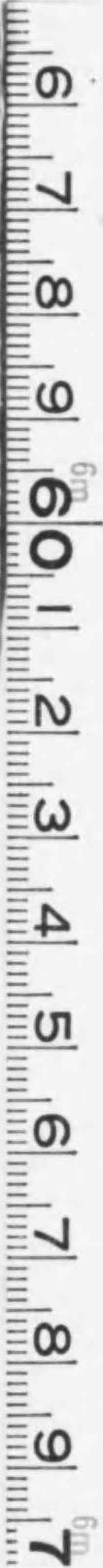
特 251

920

昭和十三年七月

支那事變回顧誌

北海道空知郡砂川町



始



特 251
920

昭和十三年七月



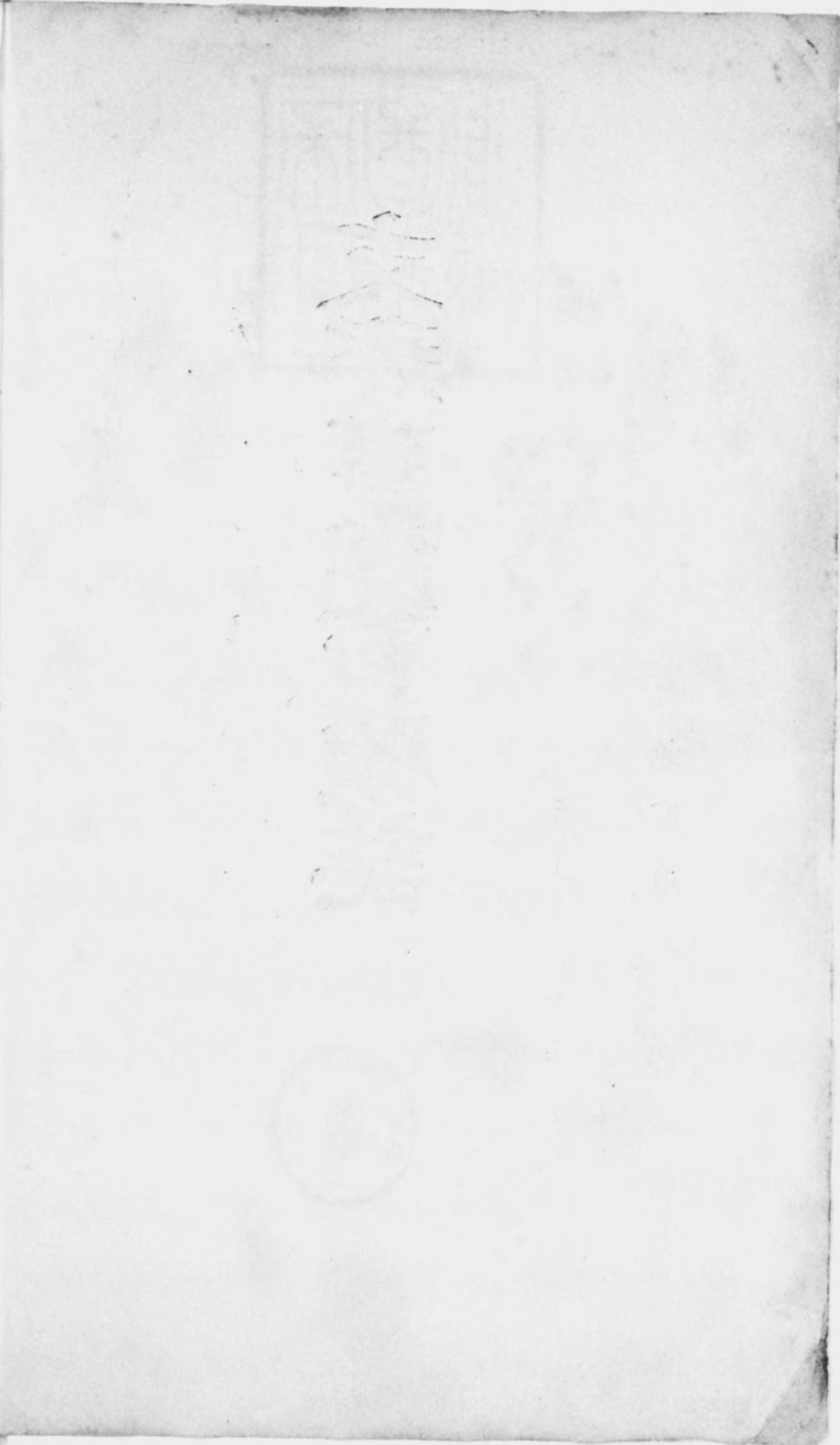
支那事變回顧誌



北海道空知郡砂川町



馬久伊藤佐 長會授後鏡町川砂
長町川砂





K.H.

(一其) 況狀の助授力勞班行實會授々後銃町川砂



(し 落 麥 燕)

(二其) 況狀の助授力勞班行實會授々後銃町川砂



(ひ 傳 手 草 除)

(三其) 況狀の助授力勞班行實會授々後銃町川砂



況實の祭願祈久長運武



況狀の會安慰族家人軍召應征出

支那事變回顧誌目次

一、緒言		(一)
二、皇后陛下御下賜金		(二)
三、御差遣宮賀陽宮妃殿下奉迎送		(三)
四、砂川町銃後々援會ノ設置		(四)
(一) 銃後々援會設置要項		(一)
(二) 會則		(二)
(三) 業務分擔表		(三)
(四) 役員及委員		(四)
(五) 昭和十二年度豫算		(五)
(六) 昭和十二年度決算		(六)
(七) 昭和十三年度豫算		(七)
(八) 昭和十二年度各區寄付金收入狀況		(八)
五、犒軍ニ關スル事項		(九)
(一) 壯行會開催ニ關スル狀況		(一)
(二) 祈願祭執行ニ關スル狀況		(二)
(三) 守護札贈呈狀況		(三)
(四) 餞別贈呈狀況		(四)
(五) 出征將兵歡迎送ニ關スル狀況		(五)
(六) 應召將兵激勵及歡送ニ關スル狀況		(六)
(七) 戦傷病兵歡迎送ニ關スル狀況		(七)



農繁期託兒所の狀況
(應召軍人女子委託)



町葬執行の狀況
(砂川驛ヨリ會場ニ向フ)

- (八) 遺骨通過ニ關スル狀況……………(三)
- (九) 町葬執行ニ關スル狀況……………(三)
- (一〇) 慰問袋發送ニ關スル狀況……………(三)
- (一一) 慰問作品發送ニ關スル狀況……………(三)
- 六、遺家族慰問、慰安、見舞ニ關スル事項……………(三)
- (一) 慰問、見舞ニ關スル狀況……………(三)
- (二) 慰安會ニ關スル狀況……………(三)
- (三) 家族の會開催狀況……………(三)
- (四) 其他 演藝會……………(三)
- 七、扶助ニ關スル事項……………(三)
- (一) 軍事扶助法ニヨル扶助……………(三)
- (二) 軍事扶助法ニ依ラサル扶助……………(三)
- 八、一般援護ニ關スル事項……………(三)
- (一) 税ノ減免ニ關スル狀況……………(三)
- (二) 遺家族託兒所利用狀況……………(三)
- (三) 人事相談ニ關スル狀況……………(三)
- (四) 應召軍人關係生徒兒童數……………(三)
- (五) 遺家族醫療狀況……………(三)
- (六) 北海タイムス社寄託慰問金……………(三)
- (七) 助産材料ノ贈呈……………(三)
- (八) 家庭救急藥ノ贈呈……………(三)

- (九) 勞力奉仕……………(三)
- 九、軍用必需品ノ供出狀況……………(三)
- (一) 軍用燕麥ノ供出……………(三)
- (二) 軍用兔毛皮ノ供出……………(三)
- (三) 軍用牧草ノ供出……………(三)
- (四) 軍用肉牛ノ供出……………(三)
- (五) 軍用需作物ノ耕作獎勵……………(三)
- 十、軍馬ニ關スル事項……………(三)
- (一) 軍馬購買ノ狀況……………(三)
- (二) 軍馬候補馬鍛練會ノ狀況……………(三)
- 十一、會社、工場、組合ニ於ケル援護事項……………(三)
- (一) 遺家族ニ對スル諸給與狀況……………(三)
- (二) 電燈料金減免狀況……………(三)
- (三) 衛生組合、火防組合ニ於ケル組合費減免狀況……………(三)
- 十二、戰捷祝賀ニ關スル事項……………(三)
- (一) 南京陥落戰捷奉告祭及諸行事……………(三)
- (二) 徐州陥落戰捷奉告祭及諸行事……………(三)
- 十三、獻金、獻品ニ關スル事項……………(三)
- (一) 國防獻金……………(三)
- (二) 恤兵慰問獻金……………(三)
- (三) 義捐獻金……………(三)

(四)	軍用燕麥ノ献納	(美)
(五)	献金美談	(美)
十四	銃後々援美談並ニ應召美談	(美)
十五	國民精神總動員ニ關スル事項	(空)
十六	同 健康週間實施ニ關スル狀況	(空)
十七	國民貯蓄獎勵運動	(空)
十八	物資需用統制	(空)
十九	愛國婦人會ニ關スル事項	(空)
(一)	出征並ニ應召軍人家族慰問	(空)
(二)	御歌複本額橡贈呈	(空)
(三)	短冊門松頒布	(空)
(四)	慰問袋發送	(空)
(五)	合同慰靈祭參列	(空)
(六)	弔慰金贈呈	(空)
(七)	見舞金贈呈	(空)
(八)	靴下ノ贈呈	(空)
二十	町内各部落ニ於ケル事項	(空)
(一)	祈願祭ニ關スル狀況	(空)
(二)	勞力援助ニ關スル狀況	(空)
(三)	部落費ノ減免ニ關スル狀況	(空)
(四)	慰問袋發送ニ關スル狀況	(空)

(五)	慰問作品發送ニ關スル狀況	(美)
(六)	部落團體慰問文發送狀況	(美)
(七)	遺家族慰問ニ關スル狀況	(空)
(八)	病氣見舞ニ關スル狀況	(空)
(九)	遺家族敬弔ニ關スル狀況	(空)
(一〇)	慰安會ニ關スル狀況	(空)
(一一)	壯行會ニ關スル狀況	(空)
(一二)	出征歡送ニ關スル狀況	(空)
(一三)	餞別贈呈狀況	(空)
(一四)	戰傷病兵見舞ニ關スル狀況	(空)
(一五)	軍隊慰問ニ關スル狀況	(空)

一、緒言

昭和十三年七月七日ハ支那事變勃發滿一年ニ當ル寔ニ意義深キ日ナリ

昭和十二年七月七日夜半蘆溝橋ノ支那軍ニヨリ突如トシテ發セラレタル一發ノ銃聲ハ四百餘州ニ對日抗戰ノ大波ヲ捲キ起シ茲ニ於テカ帝國ハ支那ノ迷夢ヲ撃チ破ルベク遂ニ斷乎膺懲ノ軍ヲ進メ全支ニ亘リ空前ノ大戰爭ニ迄進展スル重大時局ニ直面スルニ至レリ

今ヤ皇軍ハ北支中支ハ固ヨリ徐州ノ要衝ヲ攻略シテ抗日政權ノ潰滅ト更生東亞建設ノ聖戰ニ着々驚異的成果ヲ收メツ、今猶堂々歩武ヲ進メ廣望帝國ニ數倍スル戰線ニハ日章旗ノ翻ル所更生東亞ノ曙光ハ輝キツ、アリ

勇猛果敢ナル皇軍ノ進撃ハ世界戰史ヲ飾ルト雖モ聖戰ノ上ニ幾多忠勇ナル將兵ハ尊キ身命ヲ捧グ英靈ハ永ヘニ聖業ノ貫徹ヲ見護リ援クル所アルヲ深ク肺肝ニ銘ズベク帝國宏遠ノ理想達成ニ對スル國民ノ熱誠モ亦愈々高潮シツ、アリ

事變ノ前途尙長期ニ及ブモ帝國不動ノ國是ニ向ヒ舉國一致益々時局ノ重大性ニ鑑ミ認識ヲ深メ銃後協力シ以テ聖恩ニ報ヒンコトヲ期ス

茲ニ聖戰一ケ年内ニ於ケル本町關係事務ノ概要ヲ誌トナシ以テ將來ニ資サントス

一、皇后陛下御下賜金

皇后陛下 二於カセラレテハ支那事變ニ際シ出征及應召ノ軍人遺家族ヲ救護スルノ目的ヲ以テ諸團體協力シテ之ガ援護ノ實ヲ舉グル趣聞召サレ御思召ヲ以テ御内帑金ヨリ當町統後援會ニ昭和十二年十月二十五日金一封ヲ御下賜アラセラレ併セテ左ノ如キ有難キ御歌ヲ拜シ奉リタリ

御懿德宏遠洵ニ恐懼感激ノ至リニ禁ヘズ茲ニ本會ハ右御思召ヲ奉體シ各機關ト協力シ倍々粉骨碎心奉公ノ至誠ヲ效シ統後ノ護リニ遺憾ナキヲ期シ且ツ町内一般ニ御仁慈ノ程ヲ傳達シ諸學校ニ於テハ訓話ヲ行ヒ聖旨徹底ニ努メタリ

皇后宮御歌

なくさめむことの葉もかなたゝかひの
にはをしのひてすすやすからを

三、御差遣宮、賀陽宮妃殿下奉迎送

賀陽宮恒憲王妃殿下ニハ今次事變ノ傷病將兵御慰問ノ爲旭川市陸軍病院ニ御成リノ際本町各驛ヲ左ノ通り御通過遊サル、ヲ以テ

御成リノ場合	奈井江驛御通過	砂川驛御通過
月 日	五月十四日	五月十四日
時間	午後二時四十五分	午後二時五十七分
御歸還ノ場合	砂川驛御通過	奈井江驛御通過
月 日	五月十六日	五月十六日
時間	午後二時九分	午後二時二十一分

本町民二千數百名ハ之ヲ奉迎送申上ゲタリ 尙驛プラットホーム内奉迎送者ハ御差許アリタリ

資格別	上ノ砂川ノ場合	下川ノ場合	上ノ奈井江ノ場合	下ノ江ノ場合
一、其ノ地ニ於ケル官衛長	二	二	二	二
二、奉任官同待遇者以上	二	二	二	二
三、町村長又ハ助役	二	二	二	二
四、中等學校長又ハ小學校長	二	二	二	二
五、町會 議員	二	二	二	二
六、特別社員又ハ有功章會員以上ノモノ	二	二	二	二
七、消防 組 頭	二	二	二	二
八、軍 人 分 會 代 表	二	二	二	二
九、國防 婦 人 會 代 表	二	二	二	二
一〇、宗教家又ハ教化團體ノ代表	二	二	二	二
一一、地 方 名 望 家	二	二	二	二
一二、軍人遺家族、歸還將兵、統後々授會事業功勞者	二	二	二	二
計	四八	六五	三九	三〇

四、砂川町統後援會ノ設置

本町ニ於ケル各種團體合一シ統制アル機關ニヨリ統後援會ノ誠ヲ至サントシ委員二百有餘名ヲ選任シ昭和十二年九月一日砂川町統後援會ヲ設立シタリ

爾來出征軍人遺家族ノ慰問ハ勿論、扶助、救恤、其他統後々援ニ關スル一切ノ事業ヲ遂行シツ、アリ其ノ狀況ヲ左ニ記述セントス

(一) 銃後後援會設置要項

國ハ將ニ戰時體制ヲ採リ國民齊シク國難ニ赴ク重大ノ秋ニ際シ町民老若男女ヲ問ハズ一致協力赤誠ヲ捧ケテ將士ヲ鼓舞激勵スルハ最モ緊要ノ儀ト存シ候處就中將士ノ家庭ヲ護リ廣ク銃後ノ後援ヲ強化徹底セシムルハ吾人ノ責務ニシテ又奉公ノ誠ヲ効ス所以ト存シ茲ニ砂川町銃後後援會ヲ組織シ之レカ目的達成ニ萬遺憾ナキヲ期サントス

1. 本會ハ町内銃後後援事業ヲ聯絡強化シ事業實施ヲ有効圓滑ナラシメ其ノ重復遺漏ヲ避クルヲ目的トス
2. 銃後後援事業ハ獨リ公私ノ扶助機關ニノミ委スルコトナク町民舉ケテ之ニ當ルヘキ趣旨ヲ以テ組織シ各分擔ヲ定メ聯絡協調組織的且ツ積極的ニ活動ヲ爲スモノトス
3. 本會ヲ常置ノ機關トシテ活用シ町ノ銃後後援事業ヲ總理スルモ細部事項ノ實施ニ就テハ實行班ニ於テ各種團體ト連携シ之レカ完璧ヲ期ス

(二) 砂川町銃後後援會會則

- 第一條 本會ハ砂川町銃後後援會ト稱ス
- 第二條 本會ノ事務所ハ砂川町役場内ニ之ヲ置ク
- 第三條 本會ハ舉町一致銃後ノ後援ノ徹底ヲ期シ國民ノ奉公ノ誠ヲ効スヲ以テ目的トス
- 第四條 本會ハ前條ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ
 - 一、軍人ノ慰問及慰藉
 - 二、戰病死者ニ對スル慰靈弔祭ノ執行
 - 三、軍人ノ家族又ハ遺族ノ生活狀況等調査
 - 四、軍人ノ家族又ハ遺族ニ對スル慰問慰藉又ハ勞力援助
 - 五、要扶助者ニ對スル扶助方法ノ樹立及其ノ實行
 - 六、軍事扶助其ノ他銃後ノ後援ニ關スル事業ノ連絡統制

七、其ノ他必要ト認ムル事項

- 第五條 本會ノ事業執行ニ必要ナル資金ハ適當ナル方法ニ依リ之ヲ造成スルモノトス
- 第六條 本會ノ委員ハ左ノ者ニ就キ之ヲ委嘱ス
 - 一、軍事扶助團體、社會事業團體、教育團體、教化團體、產業團體、醫療團體、消防組、學校、會社、工場、組合等ノ代表者
 - 二、町會議員、方面委員及區長
 - 三、官公衛長其ノ他會長ニ於テ適當ト認ムル者
- 第七條 本會事業實施便宜ノ爲メ各區ニ實行班ヲ置ク
- 第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 一、會長 一名
 - 二、副會長 一名
 - 三、班長 各區一名
 - 四、幹事 若干名
- 第九條 會長ハ町長ノ職ニ在ル者ヲ副會長ハ助役ノ職ニ在ル者ヲ推ス
- 第十條 班長ハ區長ヲ充ツ 幹事ハ會長之ヲ委嘱ス
- 第十條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理シ會議ノ議長トナル
- 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 班長ハ班内ニ於ケル事業ノ實施統制ヲ期ス
- 幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 第十一條 役員會、委員會ハ必要ニ應ジ會長之ヲ招集ス

附則 本會則ハ昭和十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

(三) 後援會業務分擔表

業務分擔

1. 人事相談 方面委員、區長、分會長

今次ノ應召者中ニハ一家ノ柱石タルモノ多キヲ以テ單ニ其ノ家族又ハ遺族ニ對シ唯ニ物質的援助ヲ以テ事足レリトセス
家事上人事上等ニ於テ精神的援助又ハ指導ヲ要スヘキモノ尠ナシトセス之レカ相談相手トナリ其ノ解決處理ニ當ルコト
遺家族一戸ニ付付添相談相手世話役一人ヲ定ムルコト

2. 慰問 區、分會、各種團體

1. 應召遺家族ニ對シテハ各實行班ニ於テ慰問日ヲ定メ家庭ヲ訪問スルコト

2. 時折會ハ諸團體ヲシテ統制アル慰問ヲ爲スコト

3. 應召者郷土部隊ニ在ル場合ハ亦同シ

3. 扶助 方面委員、區

遺家族ニ對スル救恤ノ良否ハ延テ將兵ノ士氣ニ至大ノ關係アリ之レカ完璧ヲ期スルハ本會ノ重要ナル事業ニ屬ス依ツテ
左記ノ諸點參酌シ其ノ萬全ヲ期スヘキナリ

1. 生活狀態ヲ調査シ會ト連絡ヲ密ニスルコト

2. 生計不如意ノ向ニ對シテハ會ニ報告扶助ノ手續ヲ掌ルコト

3. 産婦病人等ニ對シテモ扶助ノ方法ヲ講スルヲ以テ報告セラレ度

4. 小範圍ノ扶助ニアリテハ實行班内ニ於テ自治的救援ノ方法ヲ講スルコト

5. 生業資金ノ運用ニ依リ自活シ得ル者ニ對シテハ特ニ事業ノ斡旋ヲ爲シ資金ニ對シテハ會ニ協議スルコト

6. 遺家族ニシテ就職希望ノ者ニ對シテハ斡旋ノ勞ヲ煩サレ度

4. 勞力援助 男女青年團、各種團體、學校

實行班ニ於テハ恒ニ家業ノ狀態ヲ調査シ作付、除草、取入等ニ手不足ノ場合ノ援助計畫責任區域ヲ樹テ輪番出役等ニ依
リ完全ニ收穫シ得ラル、ノ方法ヲ講スルコト

冬期家屋ノ除雪、家屋ノ修理等ニモ注意ヲ拂ハレ度

今次ノ動員事務ニ際シテハ青年學校、分會、其他各方面ノ多大ノ援助アリタルヲ感謝スルモ爾今一層ノ助力ヲ煩サレ度

5. 慰問品募集 國防婦人會、女子青年團、學校

出動部隊ニ對スル慰問袋本町配當ハ二三〇ケニシテ既ニ國防婦人會等ノ力ニ依リ募集セラレタルモノ今後數度募集セラレ
、モノト思考ス本會ノ指示ニ基キ振ツテ應募スル様致サレ度特ニ慰問品種ノ選定ニ注意シ兒童生徒ノ手紙封入等ヲ希望
ス

町出身現役軍人ニ對シテモ統制アル慰問致度其際ニ於ケル慰問袋募集等ニモ御助力煩度

6. 慰籍 男女青年團、婦人團體、學校

素人演藝會、活動寫眞會等ヲ催シ遺家族ヲ招待慰安ヲ與ヘ學藝會、運動會其他ノ催等ニ於テモ心シテ慰籍ニ努メラレ度

7. 慰靈 弔祭 宗教團體、區

戰病死者ニ對シテハ本會ニ於テ嚴肅ニ式典ヲ執行スヘキモ宗教團體、區ニ於テ定例法要等ヲ營ミ英靈家族ヲ慰ムルコト
、セラレタシ

8. 義捐金募集 區

本會ニ要スル費用ハ主トシテ一般ノ義捐獻金又ハ寄付金ニ求ムルノ外途ナキヲ以テ之レカ募集ニ當リテハ圓滑ニ纏マル
様取計ハル、コト

9. 獻納金 各種團體

獻納金ハ國防ノ第二線ニ立ツ銃後ノ國民トシテノ最モ尊キ愛國心ノ結晶ナルニ鑑ミ左記了知ノ上金高ノ如何ニ不拘獻納

者ノ意志ヲ尊重シ懇切叮嚀ヲ旨トシ迅速且ツ簡易ニ事件ヲ處辨スルコト

- 記
- (一) 軍事費 軍事費ニ補充 大藏關係
 - (二) 國防費 國防費ニ補充 軍事關係
 - (三) 愼兵慰問 愼兵慰問 出動將兵並ニ遺家族ノタメニ充當

右無指定ノ申出ニ對シテハ折半處理ス

獻納金ハ總テ町經由ノコト

尙以前ニ町ヲ經スシテ獻納金サレタル向ハ文書ヲ以テ獻納先金額氏名等即報セラレタシ

10 款 送 迎 各種團體

各位ノ適切ナル御手配ニ依リ極メテ盛大ニ熱烈ナル歡送ヲナシ出征兵欣喜勇躍征途ニ付カレタルハ同慶ノ至リニシテ各位ノ勞ヲ多トシ感謝スル次第ナリ事變ガ長期ニ亘ル場合ニ動モスレバ熱意ヲ欠キ出征兵ノ意氣ヲ銷沈セシムル如キ事有リテハ誠ニ遺憾ナル次第ニ付充分留意督勵セラレ萬遺憾ナキヲ期スルコト

11 認 識 分 會

今次ノ事變ニ對シ流言蜚語ニ迷ヒ輕舉妄動ヲ戒マシムルノ要アルコトハ今更言ヲ俟タサル處ニシテ即チ國民上下ノ協力ヲ促進シ眞ニ舉國一致ノ步調ヲ整ヒ此ノ難局ヲ打開スルニハ時局ノ正確ナル認識コソ肝要ナリ依テ時局ヲ研究シ特ニ會合等ヲ利用シ一般ニ其ノ認識ヲ深ムル様努力スルコト

(四) 統後援會役員及委員

- 會長 佐藤伊久馬
- 副會長 梅津廣
- 幹事 金井彌藏

五、昭和十二年度砂川町統後援會豫算

科	目	豫算額	附	記
義捐	獻金	二、〇〇〇	篤志獻金五百圓 一般獻金千五百圓	
收入				
同	工藤忠男			
同	小野吉太郎			
同	佐藤榮三郎			
同	梶尾千代太			
同	山田勇			
同	坂井徳太郎			
同	堀口治八郎			
班長	各區	長 (三十八人)		
委員	左	記 (百七人)		
統後援會委員				
町會議員	驛長	方面委員		
區長	國防婦人會長	學校長	局長	
分會長	宗教團代表者	產業組合長	男女青年支部長	
消防組頭	火防衛生組合長	會社代表者	神農會長	
工場代表者	醫師	巡查部長	農會	
住民組合長			商工會頭	

科	目	支		附	記
		算	出		
慰問	助費	一、一〇〇		應召者及遺家族慰問費	
生活	助費	五〇〇		生活扶助費	
醫療	助費	二〇〇		醫療扶助費	
生業	助費	二〇〇		生業扶助費	
標識	助費	二〇〇		應召者標識費	
通信	助費	一〇〇		通信、消耗品、雜費	
札幌陸軍病院娛樂室建設	助費	三〇〇		札幌陸軍病院娛樂室建設寄附	
豫備	助費	一〇〇		豫備費	
計		二、七〇〇			
町費補助金			七〇〇		
計			二、七〇〇		

(六) 昭和十二年度砂川町銃後援會決算

科	目	歳入		附	記
		算	入		
義捐	助金	二、〇〇〇		指定献金 一、四八六圓五〇錢 篤志献金 二、一七〇圓三三錢	
町費補助	助金	七〇〇		砂川町費補助金七〇〇圓	
其他	助金		四、八三〇圓八四	授護資金其他收入四七四圓〇一錢	
計		二、七〇〇			

科	目	歳出		附	記
		算	出		
慰問	助費	一、一〇〇		出征軍人並遺家族慰問金	
生活	助費	五〇〇		遺家族生活扶助費	
醫療	助費	二〇〇		遺家族醫療扶助費	
生業	助費	二〇〇		出征軍人家族標識費	
標識	助費	二〇〇		慰問袋、慰問文發送其他通信雜費	
通信	助費	三〇〇		札幌陸軍病院娛樂室建設寄附金	
豫備	助費	一〇〇			
計		二、七〇〇		差引二、〇六圓二五錢翌年度へ繰越	

(七) 昭和十三年度砂川町銃後援會豫算

科	目	収入		附	記
		算	入		
義捐	助金	六、五〇〇		指定義捐金六、〇〇〇圓	篤志義捐金五〇〇圓
補助	助金	二、七八〇		町補助金一、五〇〇圓	生業扶助 一、二〇〇圓
三、其	助金	二、二〇六		前年度繰越金 二、一〇六圓一五錢	△相談所
四、其	助金	五、一四		助成金等ノ収入	
計		一三、〇〇〇			
前年度豫算			二、〇〇〇		
増減(△印減)			九、三〇〇		

科目	本年度豫算	前年度豫算	増減(△印減)	附記
一、慰問費	五、九四〇	一、一〇〇	四、八四〇	慰問袋製作費一、五〇〇圓 遺家慰問費一、三〇〇圓 傷病軍人慰問費一、五〇〇圓 在營兵慰問費一、五〇〇圓 慰問官慰問費一、五〇〇圓 出產病氣見舞其他散財 定期補助費三〇月五〇圓 生活補助費五〇月五〇圓 醫療補助費一〇月五〇圓 生業扶助費七〇月五〇圓 二、一〇〇圓
二、生活扶助費	一、五〇〇	五〇〇	一、〇〇〇	
三、醫療扶助費	二、五〇〇	二〇〇	一、三〇〇	
四、生業扶助費	二、一〇〇	二〇〇	一、九〇〇	
五、標識運搬費	一、一〇〇	一〇〇	一、〇〇〇	
六、通信費	一、一〇〇	一〇〇	一、〇〇〇	
七、印刷物刊行費	六四〇	六四〇	〇	印刷物發送一回一圓 慰問袋發送一回一圓 其ノ他
八、雜費	四〇〇	四〇〇	〇	回顧誌三〇〇一圓 「統後たより」月五〇〇部二〇〇圓 保證金
九、豫備費	一〇〇	一〇〇	〇	諸印刷代
十、寄附金	一三、〇〇〇	二、七〇〇	九、三〇〇	備品消費費
計	二二、〇〇〇	二、七〇〇	一九、三〇〇	

(八) 昭和十二年度統後援會各區寄附金收入狀況

昭和十二年九月一日砂川町統後々援會設立ト共ニ之ガ事業ノ概要ヲ定メ諸經費ノ負擔ヲ町内全區ニ求メタルニ其ノ狀況左表ノ通りニシテ第二區ヲ除キ悉ク完納ノ好成绩ヲ見タリ

記

區名	收入額	區名	收入額	區名	收入額	區名	收入額
第一區	二六、〇〇	第一〇區	三二、〇〇	第一九區	一三、〇〇	第二八區	二〇、〇〇
第二區	一八、五〇	第一一區	二〇、〇〇	第二〇區	五九、〇〇	第二九區	二五、〇〇
第三區	二〇、〇〇	第一二區	一九、〇〇	第二一區	一三、〇〇	第三〇區	三三、〇〇
第四區	一八、〇〇	第一三區	二二、〇〇	第二二區	一〇、七〇	第三一區	一九、〇〇
第五區	二九、〇〇	第一四區	一五、〇〇	第二三區	九、〇〇	第三二區	一八、〇〇
第六區	二五、〇〇	第一五區	二六、〇〇	第二四區	二〇、〇〇	第三三區	一〇、〇〇
第七區	一九、〇〇	第一六區	二六、〇〇	第二五區	八、〇〇	第三四區	三四、〇〇
第八區	二五、〇〇	第一七區	四八、〇〇	第二六區	一八、〇〇	第三五區	一一、〇〇
第九區	三一、〇〇	第一八區	二九、〇〇	第二七區	二九、〇〇	計	一四八六、五〇

五、 稿軍ニ關スル事項

一、 壯行會開催ニ關スル狀況

應召將兵ニ對シテハ出征ノ都度北海道廳長官及關係地市町長共催ノ下ニ壯行會ヲ開催セラレタルヲ以テ町及在郷軍人分會等ヨリ參會シタリ

町ニ於テモ應召將兵ニ對シテ應召ノ都度全町民ヨリ參會者ヲ募リ出來得ル限り盛大ナル壯行會ヲ開催シ其ノ行ヲ盛ンニシタリ

其ノ情況左ノ如シ

開催數	延參人員	要
八	三、一六〇	砂川町主催

二、祈願祭執行ニ關スル狀況

應召將兵ニ對シテハ應召ノ都度武運長久祈願祭ヲ郷社砂川神社、村社奈井江神社等ニ於テ執行其ノ狀況左ノ如シ

回数	一五	参列者	四、六〇〇	摘	要
----	----	-----	-------	---	---

三、御守贈呈ニ關スル狀況

應召將兵全員ニ對シ砂川神社御守ヲ贈呈シタリ

四、錢別贈呈ニ關スル狀況

應召將兵ニ對シ町ヨリ金貳圓宛錢別ヲ夫々贈呈シタリ

五、出征將兵歡迎送ニ關スル狀況

出征將兵出發ノ都度砂川及奈井江驛頭ニ於テ歡送ヲ盛ナラシメタリ

通過數	一五回	歡迎送延人員	一五、〇〇〇人	摘	要
-----	-----	--------	---------	---	---

六、應召將兵激勵及歡送ニ關スル狀況

應召將兵町出發ノ都度驛頭ニ於テ町長若クハ代理者激勵ノ辭ヲ述べ歡送ヲ盛ナラシメタリ

回数	二四回	歡送延人員	一七、二〇〇人	摘	要
----	-----	-------	---------	---	---

七、戰傷病兵歡迎送ニ關スル狀況

戰傷病兵通過ノ際ハ驛頭ニ於テ迎送シ慰問ヲナシタリ其ノ狀況左ノ如シ

回数	三七回	迎送者延人員	三七、〇〇〇人	摘	要
----	-----	--------	---------	---	---

八、遺骨通過ニ關スル狀況

戰(病)死者ノ遺骨通過ノ際ハ驛頭ニ於テ迎送シ英靈ニ對シ弔意ヲ表シタリ狀況左ノ如シ

回数	六八回	迎送者延人員	一〇、二〇〇人	摘	要
----	-----	--------	---------	---	---

九、町葬執行ニ關スル狀況

當町出身左記ノ二君ノ葬儀ヲ佛式ニ依リ町葬ヲ以テ盛大壯嚴裡ニ執行シタリ

本籍地 宮城縣伊具郡北郷村君壹五十一番地ノ二
 現住地 北海道空知郡砂川町字北本町百九十番地

戸主 富三二男
 故陸軍歩兵上等兵 我妻 富雄

大正五年三月三十一日生

昭和十二年九月二十八日北支山西省西河口附近ノ戰闘ニ於テ名譽ノ戰死ヲ遂ゲラルル戰死狀況別紙ノ通りナリ

本籍地 北海道空知郡美唄町字茶志内七百二十九番地
 現住地 北海道空知郡砂川町字上砂川二十二番地

戸主 家高弟
 故陸軍歩兵上等兵 山崎 武一

昭和十二年十月二十四日北支山西省方面ノ戦闘ニ於テ名譽ノ戦死ヲ遂ゲラル
 大正四年六月五日生

◎故陸軍歩兵上等兵我妻富雄戦死状況 佐々久 隊

大泉支隊ニ屬シテ出動以來上等兵ハ第二小隊第三分隊長故佐藤伍長ノ指揮下ニ入り擲彈筒手トシテ勇躍征途ニ就キ長途ノ輸送ニ警備ニ良ク難關ヲ突破シ積極的ニ勤務ニ精勵シ其ノ重任ヲ完フセリ
 又八月二十二日太平站附近ノ戦闘ヲ始メトシ三間房、青邊口附近長城線天鎮聚樂堡等數次ノ激戦ニ參加シ常ニ衆ヲ拔キ偉勳ヲ奏シタリシガ偶々九月二十七日西河口附近長城線ノ敵陣地突破ニ際會シ最モ峻峻ナル山地ヲ踏破シ同地附近ニ於テ敵ノ最モ堅固ナル陣地ヲ踏破スルニ當リ沈著剛膽良ク分隊長ノ意圖ヲ體シ勇戰奮闘シ特ニ同日夕刻ヨリ翌二十八日拂曉ニ至ル間敵ノ猛烈ナル手榴彈ヲ物トモセス敵情監視並狙撃ニ伍シ突撃ニ當リテハ率先敵陣ニ突入シテ敵ヲ刺殺スル等其ノ行動ノ勇敢ナル鬼神ヲ泣カシムルモノアリシカ勇敢ナル上等兵モ勇進又勇進ヲ繼續中敵ノ猛烈ナル逆襲ニ遇ヒ其十字火ノタメ腹部ニ貫通銃創ヲ負ヒ無念ト叫ヒツ、遂ニ其ノ場ニ倒レタリ戰友ニ擁セラレテ安全地帯ニ收容セラル、ヤ少シモ苦痛ヲ語ラス唯無念ヲ連呼スルノミ言々私事ニ及フコトナシ而シテ呼吸漸次緊迫シ最後ヲ悟レル上等兵ハ偉儀ヲ正シ「天皇陛下萬歲」ヲ唱ヘテ戰場ノ華ト散レリ
 上等兵ノ勇敢ニシテ沈著剛膽責任觀念旺盛ナル皇室尊崇ノ觀念ノ深甚ナル眞ニ軍人ノ魁艦ト云フヘク其ノ死惜シミテモ餘リアリト云フヘキナリ

十、慰問發送ニ關スル狀況

今次事變ニ出動皇軍ノ威武ヲ中外ニ宣揚シ炎天酷寒ノ下ニ皇國ノ爲ニ奮戰シツ、アル我カ將兵ノ勞苦ニ對シ深甚ノ敬意ト滿腔ノ謝意ヲ表シ以テ其勞ニ酬ヒシタメ各部落ニ對シ慰問袋ヲ募集セリ其ノ狀況左ノ通りトス

記

個數	氏名	個數	氏名	個數	氏名
四	國防婦人會 富平班	三三	國防婦人會 奈井江分會	二	上砂川小學校同窓會女子部
六	同 北光班	一〇〇	同 三井砂川鑛業所分會	二	空知太 明圓チヨ子
同	同 燒山班	二	同 宮城ノ澤班	九五	信光寺 檀家 一 同
同	同 吉野班	一八	同 上砂川班	計	三二九個
同	同 鶴沼班	四〇	同 砂川班		
同	同 豐沼班	二	同 高田ヌミエ		
一〇	同				

右慰問袋ハ北海道廳ノ指示ニヨリ昭和十二年九月十六日佐世保鎮守府ニ送付シタル處昭和十二年十月十日左記禮狀ニ接シタリ

記

謹啓
 益々御清適ノ段奉賀候
 陳者先般各位御寄贈ノ慰問品本日當隊ニ配給セラレ一同悅而頂戴仕候御厚志ノ段感謝ニ不堪厚ク御禮申上候

昭和十二年十月十日

砂川町長 殿

〇〇司令官

十一、慰問作品發送ニ關スル狀況
 慰問袋募集ト同時ニ各小學校兒童ヨリ慰問作品ヲ募集セリ北海道廳ヨリノ本町割當二百三十點ニ對シ提出セラレタル作品三百十四點ニ及ヘリ出品數内譯左記ノ通り

圖畫點數	作文點數	出品學校名	圖畫點數	作文點數	出品學校名
五四	五四	砂川尋常高等小學校	一	二	燒山尋常小學校
六一	二九	上砂川尋常高等小學校	二	二	一ノ澤尋常小學校
二二	二八	奈井江尋常高等小學校	二	二	富平尋常小學校
四	三	空知太尋常高等小學校	二	三	白山尋常小學校
一三	一二	上砂川尋常高等小學校	二	二	砂川校宮城澤分教場
四	四	北光尋常小學校	一	一	十一校
計	計		一六三	一五一	

右慰問作品ハ昭和十二年十月七日空知支廳長宛送付シタル處昭和十三年三月二十二日左記ノ通り禮狀ニ接シタル旨空知支廳長ヨリ通知アリ

記
 今次ノ時局ニ就テハ終始一貫熱誠ナル御後援ヲ忝フ致居候ノミナラス特ニ今回慰問品ヲ御送付下サレ候段洵ニ感謝ニ堪エス茲ニ謹テ厚ク御禮申上候
 尙慰問品ノ處置ニ就テハ御趣旨ニ副フ如ク萬全ヲ期シ第一線將兵ニ御芳志ヲ傳達致スヘク候
 昭和十二年十二月九日
 關東〇〇部隊長 江川 恒雄

空知支廳長殿

六、遺家族慰問慰安見舞ニ關スル事項

一、慰問ニ關スル狀況

種別	回數	戶數	金額	備考
遺家族慰問	六	八五七	一、〇五六二八	國婦、男女青年、軍人分會等後援會役員同伴
災害慰問	二	三	二八六〇	方面委員、區長
戰死者弔慰	二	二	七五〇〇	火災罹災者ニ對スル慰問金
戰傷病者慰問	一	一	五〇〇〇	弔慰金、供物料
家族病氣見舞	一	一	二〇〇〇	
死亡見舞	七	七	七〇〇〇	遺家族死亡見舞
其他	一	一	八八三三	
計		八八三	一、三三五一	

二、出征軍人遺家族慰安會開催狀況ニ關スル事項

今次事變ニヨリ出征シタル將兵ノ遺家族ニ對シ精神的慰安ヲナスト同時ニ銃後後援會活動資金募集ヲナシ生活扶助生業補助ニ萬全ヲ期サント町民各位ノ援助ヲ受ケ左記ノ通り慰安會ヲ開催各地共盛會ヲ極ム
 右慰安會ト同時ニ砂川町長佐藤伊久馬氏ヲ講師トシ時局認識並ニ銃後ノ守リニ付講演會ヲ開催シタリ

月日	場	所	收入金額	摘	要
十二月十九日	奈井江共榮座		八二四一〇	記念寫眞ヲ奈井江ヨリノ出征兵ニ送付セリ	
十二月十九日	砂川共榮座		一四六三〇〇	素人演藝會	

十一月二十一日	上砂川 空知劇場	三三三〇〇	活動寫眞
十二月十三日	北光 北光校	二六三〇〇	素人演藝會
同 十四日	空知太 空知太校	二〇六〇〇	小學校兒童
同 十五日	富平 富平校	一三四〇〇	浪花節

三、出征軍人家族ノ會開催ニ關スル狀況

今次事變モ愈々長期ニ亘ルヲ覺悟シ銃後ノ結束ニ付テハ一層強化ノ要アルヲ以テ出征軍人家族ノ會ヲ催シ種々協議懇談ヲ重ネタリ其情況左ノ如シ

記

日時	場所	家族	出席者	備考
三月二十六日 午前十時ヨリ	上砂川公會堂	二二	二二	
同 午後二時	三井娛樂館	九二	二五	
三月二十八日 午前十時	砂川小學校	七八	一五	
三月二十九日 午前十時	奈井江小學校	三七	一一	
計		二二〇	六三	

家族會次第

- 一、開會ノ辭
- 二、國歌齊唱
- 三、宮城遙拜

四、武運長久祈念 (默禱一分間)

五、挨拶 町長、空知支廳長、瀧川警察署長

六、帝國政府發表聲明朗讀

七、懇談

八、申合

九、萬歳三唱

一〇、閉會ノ辭

申合事項

- 一、不良思想に誘惑されないこと
- 二、家業に精勵すること
- 三、育英の万全を期すること
- 四、素行を慎むこと
- 五、健康保全に努むること
- 六、火災豫防に努むること

四、其他演藝會

砂川町正派邦樂美箏會ニ於テハ五月砂川座、共榮座ニ於テ遺家族慰問演藝會ヲ催シ得タル百三十八圓餘ハ悉ク義捐獻金トシテ町銃後後援會ニ獻金シタリ

七、扶助ニ關スル事項

一、軍事扶助法ニ依ル扶助

1. 軍事扶助法ノ趣旨徹底ニ關シ執リタル措置

イ、區長、方面委員等ノ諸會合ニハ常ニ軍事扶助法ノ趣旨説明ヲ爲シ普及徹底ニ努メタリ

ロ、數次遺家族ノ慰問ヲ爲ス際ニ都度情況ヲ究メ生活困難ナル者ニ對シテハ懇篤ト説明シ特ニ生活困難ナルニモ不拘扶

助ヲ受ケルヲ潔シトセサル者ニ對シテハ特ニ趣旨ノ徹底ヲ計リタリ

2. 軍事扶助法ニヨル扶助事務ノ處理狀況

イ、家庭ノ實地調査狀況

本人ヨリ直ニ出願スル者ニ對シテハ勿論、各區長、方面委員、其他部落有志ト連絡ヲ密ニシ、内調査ヲ爲サシメ扶

助必要アリト認メラル、者ニ對シテハ事務擔任者ヲシテ各戸ニ付調査セシメ迅速ニ事務處理ニ努メタリ

ロ、扶助出願ノ狀況

眞ニ生活困難ナル者ニ對シテハ直ニ扶助出願ヲ爲サシムルハ勿論ナルモ一見餘裕アル生活ヲ爲シ居ル如クナレ共其

ノ内情ニ於テハ眞ニ生活困難ナル者ニ對シテハ克ク法ノ精神ヲ理解セシメ出願ヲ爲サシメタリ

昭和十二年七月ヨリ昭和十三年六月迄ノ扶助出願狀況左ノ通り

種別	扶助出願戸數	同上許可済戸數	扶助廢止戸數	現在扶助戸數
生活扶助	三三	三三	六	二七
醫療扶助	一五	一五	九	六
生業扶助	二	二		六

3. 扶助狀況

軍事扶助法ニヨル扶助狀況左ノ通りナリ

1. 生活扶助

イ、支那事變關係ニ依ルモノ

月別	區分	實扶戸數	實扶人員	延扶人員	扶助金額	一戸當	一人當	一日當人	備考
昭和十二年七月		七	二五	六七五	一六三三五	二三三四	六五三	二四	
八月		一〇	三六	九一六	二〇二二五	二〇二三	五六二	二三	
九月		一三	四二	一、二〇〇	二六八三〇	二二三六	六三一	二三	
十月		一三	四二	一、二六〇	二六四五〇	二二〇四	六三〇	二三	
十一月		一三	四〇	一、一九二	二五七九八	二二五〇	六四五	二三	
十二月		一七	五四	一、四六九	三一八四四	一八七三	五八九	二三	
昭和十三年一月		一七	五四	一、五一二	三二七三二	一九二五	六〇六	二三	
二月		一七	五六	一、七三六	三七〇四五	二二七九	六六二	二二	
三月		一九	六五	一、九四三	三九〇二〇	二〇五三	六〇〇	二〇	
四月		二〇	六六	一、九二六	四〇五二五	二〇二六	六一四	二二	
五月		一九	六〇	一、八〇〇	三八一〇〇	二〇〇五	六三五	二二	
六月		一九	六〇	一、五、六二三	三、三四八九四	二〇五五	六二〇	二二	
計									

口、然ラサルモノ

月別 区分	昭和三十二年七月												計
	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	
實扶戸數助	三	六	六	六	六	五	五	七	八	八	八	七	四
實扶人員助	一四	二四	二四	二四	二四	二四	一九	一九	二二	二七	二七	二七	二四
延扶人員助	四三四	七〇四	七二〇	七四四	七四四	七二〇	七〇四	七四四	七四四	七二〇	七〇四	七二〇	八、二二三
扶助金額	六一三八	一二八一〇	一二八一〇	一二八一〇	一二八一〇	一二八一〇	一二八一〇	一二八一〇	一二八一〇	一二八一〇	一二八一〇	一二八一〇	一、五八七〇九
一戸當	二〇四六	二二三五	二二三五	二二三五	二二三五	二二三五	二二三五	二二三五	二二三五	二二三五	二二三五	二二三五	二二三五
一人當	四三八	五三四	五三四	五三四	五三四	五三四	五三四	五三四	五三四	五三四	五三四	五三四	五三四
日當人	一四	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
備考													

月別 区分	昭和十二年七月				計
	七月	八月	九月	十月	
扶助戸數	一	三	三	三	
扶助人員	一	三	三	三	
延扶人員助	二	六	八	九	
扶助金額	六〇	九四九〇	一一五七〇	一一五七〇	
備考					

月別 区分	昭和三十二年七月												計
	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	
扶助戸數	三	四	三	五	五	二	二	五	二	七	六	七	
扶助人員	三	四	三	五	五	二	二	五	二	七	六	七	
延扶人員助	八五	七三	九三	一一三	六〇	六〇	一三三	一三三	六〇	一三三	七二	八四九	
扶助金額	一一二六〇	一一〇八〇	一一〇七〇	一一〇七〇	一一〇七〇	一一〇七〇	一一〇七〇	一一〇七〇	一一〇七〇	一一〇七〇	一一〇七〇	一一〇七〇	
備考													

資 金 名	扶助戸數	扶助人員	延扶人員助	扶助金額	備考
耕馬購入資金	二	一五〇	三〇〇		

八、一般援護ニ關スル事項

一、税ノ減免ニ關スル狀況

支那事變勃發ニ依ル應召並ニ出征軍人遺家族ノ救濟ニ就テハ國稅及地方稅ノ減免ト共ニ本町ニ於テモ其ノ減免ノ要件カ軍事扶助法ニ該當セサルモノト雖モ夫々減免ヲ行ヒタリ。就中町ノ主タル財源タル特別稅戶數割ノ如キハ各戶ニ付町會ノ議決ヲ經其ノ完壁ヲ期シタリ。其ノ内譯左記ノ通り

1. 國稅ノ減免

地	租	一、二五〇	五人
---	---	-------	----

2. 地方稅ノ減免

營業稅	四件	三、三三〇
馬車稅	六件	六、一〇〇
自轉車稅	三三件	二、九〇〇
計	三三件	三、八三〇
特別稅戶數割		二八人

3. 町稅ノ減免

營業稅附加稅	四件	一、九九〇
馬車附加稅	六件	四、八〇〇
自轉車附加稅	三三件	二、六四〇
特別稅戶數割	一六五件	五、四一〇
計	一九八件	五、七四〇
		一九三人

二、出征軍人遺家族託兒所利用狀況

1. 託兒狀況

託兒所名	區分	延出人員	應召軍人子弟	延出人員上	總所ニ要シタル經費	備考
奈井江農繁期託兒所	應召軍人關係	二、五三九	三	六九	一一八九六	
豐沼同	應召軍人關係	四七	九	一五二	一一三二七	
北光同	應召軍人關係	三四	五	一〇三	五〇〇〇	
富平同	應召軍人關係	二八	七	七二	六〇九六	
計		四、六六八	一七	三三四	三、四三九	

2. 託兒年齡別

託兒所名	區分	三歲	四歲	五歲	六歲	七歲	計	備考
奈井江農繁期託兒所	應召軍人關係	七	二五	三七	二五二	一五一	九九三	
豐沼同	應召軍人關係	三	五三	八一	一五四	三七	三八九	
北光同	應召軍人關係	一	五	四一	一六二	三二	二九五	
富平同	應召軍人關係	二	四	五	一二	五	二八	
計		一三	三九	五二	六八	二〇四	一九四七	
合計		一三	四二	五六	七六	二四	三二一	

三、應召軍人遺家族人事相談ニ關スル狀況
 應召軍人遺家族ノ人事相談ニ關シテハ方面委員、區長等ト連絡ヲ保テ極力相談相手トナリ之ガ解決ヲ圖リタリ
 其ノ狀況左ノ通りナリ

恩給賜金ニ關スルモノ	戸籍ニ關スルモノ	負債ニ關スルモノ	保險金ニ關スルモノ	其他	計
完了	完了	完了	完了	完了	完了
未了	未了	未了	未了	未了	未了
五	一五	一	一	三三	二
三				四三	三

四、應召軍人關係生徒兒童調
 昭和十三年六月一日現在

學 校 名	常 科					高 等 科		合 計
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	計	
砂川尋常高等小學校	八	一五	三	二	二	二	六六	八九
空井江 同	六	三	三	一	一	一	三三	四九
上砂川鶴 同	三	二	二	一	一	一	二六	三七
空知太 同								
北光 同								
燒山尋常小學校	一	一	一	二	二	二	四四	五
一ノ澤 同								
白山 同								
富平 同								
宮城澤分敷場								
上砂川尋常高等小學校	一六	二四	一六	一七	一五	一一	一〇〇	一二七
計	三九	五〇	四〇	四〇	四三	四一	二五三	三二五

二、中 等 學 校

學 校 名	一 學 年	二 學 年	計	備 考
砂川高等家政女學校	一	四	五	

五、出征軍人遺家族醫療ニ關スル狀況

出征軍人遺家族ニシテ生活困難ナル者ニ對シテハ身分證明書ヲ與ヘ醫師ノ診斷ヲ受ケシメ治療ニ努メシメタリ
 其ノ狀況左ノ如シ

制 引 率	町内病醫院		町外病醫院		備 考
	全	免	全	免	
二 割 引					
五 割 引					
全 免					
		三八		七二	

六、北海タイムス社寄託ニ係ル慰問金贈呈狀況

北海タイムス社提唱募集ニ係ル献金ノ内出征及應召軍人遺家族ニ對スル慰問金トシテ當町ニ五〇一圓四七錢寄託セラレタルヲ以テ町内遺家族ニ對シ十月十七日一齊ニ訪問贈呈シタリ

七、助産材料贈呈狀況

北海道廳及日本赤十字社北海道支部協力ノ下ニ應召軍人家族及遺族ニ對シ助産材料ノ贈呈方依頼アリタルヲ以テ三十四戸ニ對シ之カ贈呈ヲ爲シタリ

八、家庭救急藥贈呈狀況

北海道廳及日本赤十字社北海道支部協力ノ下ニ應召軍人家族及遺族ニ對シ家庭救急藥ノ贈呈方依頼アリタルヲ以テ町内該當者六十一戸ニ對シ之カ贈呈ヲ爲シタリ

九、勞力奉仕

應召農家ニ對スル生活ノ安定並ニ産業進展ニ關シテハ全力ヲ舉ケテ之レニ當リ相談役ヲ設ケ勤勞奉仕班ヲ設置シ町、農會農檢其他指導機關ト連絡ヲ密ニシテ詳細ナル各戸毎ニ計畫ヲ樹立シ部落農事實行組合、男女青年、在郷軍人、國防婦人會小學校生徒等各校團體ヲ動員シテ一致協力シ農事關係ハ云フニ及ハス其他家事ニ關シテモ勞力奉仕ヲナシ萬遺憾ナキヲ期シタリ

昭和十三年度ノ勤勞奉仕ニ關シテモ數回ニ涉リ協議ヲ重ネ各戸毎ニ耕作計畫ヲ樹立シ不足勞力延人員參千參百五十人ニ對スル勞力奉仕計畫ヲ詳細ニ涉リ樹立シテ萬全ヲ期シタリ町ヨリモ壹千數百圓ノ生業助成金ヲ交付シ之レニ依リ不足勞力ノ補充ヲスル等萬遺憾ナキヲ期シツ、アリ

九、軍用必需品供出狀況

一、軍用燕麥ノ供出

時局關係ニ依リ軍部莫大ナル燕麥ヲ必要トシ多額ナル割當有リ當町ハ六千俵納入ヲ目標トシテ役場、産業組合、實行組合トガ一致協力シテ之レニ當リ數回ニ涉リ協議會ヲ開催シ各部落ニ於テハ生産者ノ懇談會ヲ開催シ各耕作者ノ責任納入數量ヲ決定シ町ヨリハ壹俵三十七錢約八百圓ノ納入獎勵金ヲ出シ目標ニ向ツテ邁進シ豫定ノ數量ヲ納入スル事ヲ得タリ

昭和十三年度ノ納入ニ關シテハ各期間中ニ數度ノ會議ヲ開キ各區、各實行組合ニ對シ責任割當反別ヲ決定シ一万俵納入ヲ

目標トシテ納入計畫ヲ樹立シ萬全ヲ期シタリ

二、軍用兔毛皮供出

昭和十二年度ハ軍ノ多量購入計畫ニ依リ當町モ四百數十枚ノ割當有リ農會ト協力シテ詳細ナル供出計畫ヲ立テ實行組合ノ協力ヲ得テ着々蒐集シ割當額以上六百數十枚ノ供出ヲ得タルハ欣快トスル處ナリ

昭和十三年度ノ供出ニ關シテハ詳細ナル増殖計畫ヲ樹立シ二千頭飼育一千枚兔毛供出ヲ目標トシテ進ミ町ヨリハ新飼育者ニ對シ親兔一羽五十錢幼兔一羽二十五錢ノ購入獎勵金ヲ交付シ多量生産ヲ計リ所期ノ目標ニ向ツテ邁進シツ、有リ

三、軍用牧草ノ供出

割當額三百數十貫ナリシ軍用牧草ハ生産ノ犧牲ト町ヨリノ納入助成トニ依リ完納スルコトヲ得タリ

四、肉牛ノ供出

軍用罐詰製造原料トナル肉牛ノ購買ニ關シテハ産業組合ト協力シ數度ニ涉リ供出ニ努メタリ

五、軍需作物ノ耕作獎勵

軍需作物ノ大増加ヲ必要トシ燕麥、亞麻、大麻、玉蜀黍、菜種、小麥牧草増産計畫ヲ樹立シ各區各實行組合ニ割當耕作ヲナサシメ時局ノ要求ニ向ツテ全力ヲ盡シ大體豫定通りノ耕作ヲスル事ヲ得タリ

十、軍馬ニ關スル事項

一、軍馬購買

日支事變勃發以來空知支廳管内岩見澤町ヲ中心トセル附近町村五、六ヶ町村ニ馬匹ノ徵發ヲ施行セラレ又議會ニ於テハ馬ノ移動制限法ハ通過シ町村長ノ許可ヲ受クルニアラザレバ町外ニ移動ヲナスコト得ザルコト、ナリ陸軍省ニ於テハ第一線ニ送リ軍馬購買ヲ準徵發的ニ施行シ今日迄之ガ購買ハ〇〇〇〇回ニシテ砂川町ノ購買數ハ〇〇〇〇頭其ノ價格〇〇〇〇圓ニ達セリ

二、軍用候補馬鍛鍊會

陸軍省ハ日支事變ノ實戰ニ鑑ミ民間ニ鍛鍊馴致ノ必要上政府ヨリ巨額ノ經費ヲ支出シ北海道ハ會長ヲ北海道廳長官、副會長ハ經濟部長及北海道畜産組合聯合會長、督勵部長ハ支廳長、事業部長ハ空知畜産組合長、幹事長ハ道廳畜産課長ノ支部長ハ各町村長ノ組織ニヨリ軍用候補馬鍛鍊會ヲ昭和十三年三月ヨリ施行シ本町ハ常時〇〇〇頭ノ鍛鍊馬ヲ割當ラレ七班ニ分チ各班ニ指導員ヲ置キ毎月一回施行シ鍛鍊會ニ牽付ケタルモノハ一回金三十五錢ノ牽付手當ヲ支給シ帝國馬匹協會ヨリ簡易乘鞍百八個寄贈アリテ充分馴致ノ目的ヲ達シツ、アリ本町ノ指導ニ關係アルモノ左ノ通りトス

一、事務擔當者

書記 堀口治八郎 書記補 吉川 定義

二、指導員監督

書記 梶尾千代太 小野吉太郎 進藤 武

三、指導員

- 1. 富平空知太班
大川伊勢吉 河合 保 宮崎 藤八 増田吉次郎 下屋敷熊吉
- 2. 北 光 班
辰川 武雄 井戸坂助四郎 内野 勳 五十嵐榮吉
- 3. 燒山、吉野班
原田 一郎 徳本 孝助 齊藤助太郎 奥山金次郎
- 4. 鶴、宮城ノ澤班
住吉正三郎 中田 昌一 松浦 勝次
- 5. 豊 沼 班
松本 信一 浦口 留藏 沖田長四郎 奥山 勝義
- 6. 奈井江北部班
高田松次郎 丹 正 川端 由松 千徳 作一
- 7. 奈井江南部班
藤塚 安次 萬 金藏 橋本 武 深井 豊吉

十一、 會社、工場、組合ニ於ケル援護事項

一、 應召軍人遺家族ニ對スル生活費、醫療費等給與狀況

應召軍人遺家族ニ對シ當町内ノ會社、工場等ニ於テ之ガ生活ヲ保證シ患者ニ對シテハ醫療費等ヲ給與シ銃後援ノ實ヲ舉ゲツ、アルモ其ノ狀況左ノ如シ

記

1. 生活費

會社工場名	給與戸數	同族數上	給與標準	給與額	昭和十二、十三、十六、十七、果計	備考
三井鑛山株式會社砂川鑛業所	一二五	七〇	應召者實金ノ六割以上	不同	三五、五〇〇〇	砂川町關係分
三井物産株式會社砂川製材工場	一〇	三三	〃	三三、三五〇	三、九九〇〇	
森永煉乳株式會社空知工場	一	五	〃	不同	三五〇〇	
大日本電力株式會社砂川變電所	一	四	〃	四〇、八〇	三〇〇〇	
計	一三七	七五二			四〇、一四〇〇〇	

2. 醫療費

會社工場名	給與戸數	給與日數	給與金額	備考
三井鑛山株式會社砂川鑛業所	三	一	四五二〇	醫療ハ無料トス
三井物産株式會社砂川製材工場				
三井産物株式會社砂川製材工場				

3. 其他ノ諸給與

會社工場名	給與名	給與金額	備考
三井鑛山株式會社砂川鑛業所	石炭、諸負擔金		無料トス
三井物産株式會社砂川製材工場	薪、屑木、木炭、入浴	一〇	
森永煉乳株式會社空知工場	〃	三三	
大日本電力株式會社砂川變電所	〃	三〇〇〇	無料

二、 電燈料金減免ニ關スル狀況

出征軍人家族ニシテ生活困難ナル者ニ對シテハ大日本電力株式會社ト協議ノ上之ガ料金ノ減免ヲ行ヒタリ其ノ狀況ヲ舉グレバ左ノ通りナリ

區域	免除戸數	同上延戸數	一月々月免除金額	計	減額戸數	同上延戸數	一月々月減額金額	計	合	計
砂川散宿所區内	一〇	七二	六六	四七五二	一	九	六六	五九四		四七五二
奈井江散宿所區内	三	二七	六六	一七八二	一	九	六六	五九四		二二七六
上砂川散宿所區内	六	四四	六六	二九〇四	一	九	六六	五九四		二九〇四
計	一九	一四三	六六	九四三八	一	九	六六	五九四		一〇〇三二

三、衛生組合費、火防組合費減免状況

當町内衛生組合、火防組合ニ於ケル出征軍人遺家族ニ對スル組合費減免状況左ノ通りナリ

區分	戸數		金額		備考
	減	除	減	除	
砂川衛生組合	二五	二	八〇〇	二四〇	全戸ヨリ徵收セズ
奈井江 同	二	一	二〇〇	一〇〇	
上砂川 同	五	一	五〇〇	四〇〇	全戸ヨリ徵收セズ
砂川火防組合	二	一	二〇〇	一〇〇	
奈井江 同	二	一	二〇〇	一〇〇	全戸ヨリ徵收セズ
上砂川 同	一	一	一〇〇	一〇〇	
計	一四	三	一七四〇	二五五〇	

十二、戰捷祝賀ニ關スル事項

(一) 南京陥落戰捷奉告祭

今次支那事變勃發スルヤ皇軍ノ神速果敢ナル進撃ハ僅カ四ヶ月ニシテ首都南京ヲ陥落セシメタル處コノ曠古ノ戰勝ヲ神前ニ奉告シ併セテ出動將兵ノ武運長久ヲ祈願スルト共ニ銃後國民ノ感謝ノ赤誠ヲ捧グルタメ砂川、奈井江神社ト打合せ戰勝奉告祭ヲ執行ス

(イ) 郷社砂川神社 昭和十二年十二月十二日午後一時ヨリ左ノ順序ニ依リ執行シタリ
村社奈井江神社

戰勝奉告祭次第

- 1 着席
 - 2 修禮
 - 3 宮城遙拜
 - 4 君が代
 - 5 奉告文奏上
 - 6 玉串奉奠
 - 7 町長挨拶
 - 8 忠魂碑參拜
 - 9 萬歳三唱
 - 10 解散
- 出席者 小學校兒童、青年學校生徒、男女青年團員、在郷軍人分會員、國婦會員、消防組員、防護團員、其他一般町民等凡三、〇〇〇人

(ロ) 各部落ニ於テハ部落民小學校ニ參集ノ上戰捷祈願ヲ爲スト共ニ小學校長ハ戰捷講演ヲ爲シタリ

(ハ) 各小學校ニ於テハ學校長戰捷講演ヲ爲ス

(ニ) 大旗行列

戰捷奉告祭ニ引續キ砂川、奈井江、上砂川ノ三市街及三井砂川鑛業所ニ於テハ旗行列ヲ行ヒテ祝意ヲ表シタリ

砂川市街 十二日午後二時ヨリ
奈井江市街 同
上砂川 十一日午後二時ヨリ

三井砂川鑛業所

同

(ホ) 提灯行列

砂川、奈井江、上砂川三市街ニ於テハ十二日午後五時ヨリ提灯行列ヲ行ヒ街頭一面提灯ノ海ト化ス

(二) 徐州陥落戦捷奉告祭

曩ニ首都南京ヲ陥落ツイデ中支ノ要衝タル徐州モ神速果敢ナル皇軍ノ活躍ニ依リ陥落セシメラル此ノ戦勝ヲ神前ニ奉告シ併セテ出動皇軍將兵ノ武運長久祈願スルト共ニ其ノ苦心ト功績トニ對シ銃後國民ハ最高ノ感謝ト最大ノ奉祝ヲ捧グル義務アルヲ痛感スル故郷社砂川神社、村社奈井江神社ト打合セ戦勝奉告祭ヲ執行ス

(イ) 郷社砂川神社 昭和三十二年五月二十二日午後一時ヨリ左記順序ニヨリ執行シタリ
村社奈井江神社 戦勝奉告祭典行列次第

- 1 着席
- 2 修禮
- 3 奉式宣言
- 4 宮城遙拜
- 5 黙禱
- 6 國歌奉唱
- 7 修祓
- 8 祭詞奏上
- 9 玉串奉奠
- 10 町長挨拶
- 11 萬歳三唱
- 12 閉式宣言
- 13 旗行列

出席者 小學校兒童、男女青年團員、青年學校生徒、在郷軍人分會員、國防婦人會員、消防組員、

防護團員、其他部落民等 凡三、〇〇〇人

(ロ) 各部落ニ於テハ區長、學校長中心トナリ部落民、小學校兒童、其ノ他最寄小學校ニ參集ノ上戦勝祈願ヲ爲スト共ニ學校長ハ戦勝講演ヲ爲ス

(ハ) 大旗行列

戦勝奉告祭終了後引續キ砂川、奈井江、上砂川及三井鑛業所ニ於テハ國旗打振り街頭長蛇ノ如ク愛國行進曲ヲ高唱シナガラ行進祝意ヲ表セリ 尙當日ハ午前六時ヨリ各戸洩レナク國旗掲揚ス

(ニ) 提灯行列

砂川、奈井江、上砂川三市街ニ於テ二十二日午後七時ヨリ街頭一面提灯ノ海ト化ス如ク提灯打振り大イニ祝意ヲ表シタリ

十三、 献金、献品ニ關スル事項

國防献金、恤兵慰問献金、義捐献金ニ關スル狀況

支那事變勃發スルヤ國防献金及恤兵慰問献金、義捐献金ヲ申出ヅルモノ尠ナカラズ。可憐ナル學童ノ納豆賣、花賣、小使
 錢ノ蓄積シタル等ノ美ハシキ献金ヲ始メ其他ノ篤志献金ヲ合セ昭和十二年七月ヨリ一ケ年間ニ於テ本町ノ取扱ヒタル國防
 献金、恤兵慰問金ハ二千二百圓ニ及ビ義捐献金ハ二千六百餘圓ニ達シタリ
 其ノ狀況左ノ如シ

(一) 國防献金調

昭和十二年度中

年	月	日	住	所	氏	名	金	額	備	考
昭和一二、	八、	二	砂川	青年學校内	山本	秀子	外	四	五	
同	八、	二	砂川	町字豊沼	砂川	町女子青年團	豊沼	支	五	
同	八、	五	字	南本町	加	藤	春	五	五	
同	八、	一三	字	奈井江	砂川	町女子青年團	第六區	支	五	
同	八、	一四	字	空知太	川	口	常	一	〇	
同	八、	一六	字	南本町	天	理	敦	空	知	支
同	八、	一七	字	北本町	前	谷	吉	三	七	八
同	八、	二一	字	北光	砂川	町女子青年團	第七區	支	二	
同	八、	二一	字	奈井江	第三區	第三組	納稅	農	事	實
同	八、	二一	字	奈井江	砂川	町女子青年團	第十區	支	一	
同	八、	二一	字	奈井江	砂川	町女子青年團	第十區	支	一	

年	月	日	住	所	氏	名	金	額	備	考
同	八、	二二	字	北本町	服	部	佐	吉	三	五
同	八、	二五	字	宮城澤	砂川	町女子青年團	宮城澤	支	二	
同	八、	二七	同		第二十一區	第二組	農	事	實	行
同	八、	二七	字	豊沼	第十區	第三組	農	事	實	行
同	八、	二七	字	空知太	砂川	町青年團	空知太	支	一	
同	八、	二八	字	北本町	鳥	弘	一	六	五	
同	八、	二八	字	南本町	砂川	町青年團	豊沼	支	一	
同	八、	二八	字	南本町	佐々	木	ス	エ	外	五
同	八、	二八	字	南本町	大	鳥	仁	三	二	
同	八、	二八	字	南本町	第五區	第二組	農	事	實	行
同	八、	二八	字	南本町	山	木	武	雄	一	
同	八、	二八	字	南本町	森	下	サ	ク	エ	
同	八、	二八	字	南本町	第十六區	第一組	農	事	實	行
同	八、	二八	字	南本町	第五區	第四組	同	二	二	
同	八、	二八	字	南本町	藤	堂	西	涯	一	
同	八、	二八	字	南本町	砂川	町女子青年團	空知太	支	一	
同	八、	二八	字	南本町	石	倉	ヒ	サ	一	
同	八、	二八	字	南本町	砂川	料	理	店	組	合
同	八、	二八	字	南本町	第十區	第二組	農	事	實	行
同	八、	二八	字	南本町	林	啓	枝	林	喜	代
同	八、	二八	字	南本町	砂川	町青年團	一ノ	澤	支	部
同	八、	二八	字	南本町	砂川	町女子青年團	第十八區	支	部	
同	八、	二八	字	南本町	三	浦	功	外	三	
同	八、	二八	字	南本町	砂川	町青年團	鶴	支	部	

計

(三) 義捐獻金調

自昭和十二年七月
至昭和十三年六月

九六四五〇

年 月 日	住 所	氏 名	金 額	備 考
昭和一二、 八、一四	砂川町字北本町	長谷部 清次郎	五〇〇	
同	字南本町	齋藤 秀雄	二〇〇	
八、一六	字北本町	稻井 才一	七五〇	
八、一七	字北本町	本間 次三郎	七五〇	
八、一八	字北光	第三區第三組納稅農事實行組合	七〇〇	
八、二五	字奈井江	砂川町青年團第十三區支部	五〇〇	
八、二七	砂川青年學校生徒	小山 正一 外十六人	一三〇	
八、三〇	字上砂川鶴	鶴小學校同窓會一同	一三〇	
八、二八	札幌市南五條西二丁目	新谷 藤作	一三〇	
同	池田 砂川分會	池田 松太郎	一〇〇	
同	在郷軍人砂川分會	市街班 教護隊	五九一	
同	砂川町女子青年團第十三區支部	砂川町女子青年團	五〇〇	
同	砂川町青年團第八區支部	砂川町青年團	五〇〇	
九、二	字奈井江	上砂川中會	一二〇	
同	字吉野	久保田 正外三十七人	二〇七	
同	字上砂川	森山 一郎 外十三人	二八〇	
同	字奈井江	宮内 もと	六四	
同	字上砂川市街	昭美 婦人會	三〇〇	
同	字南本町	阿部 光三	五〇〇	
九、六	字空知太	砂川町女子青年團空知太支部	五〇〇	

年 月 日	住 所	氏 名	金 額	備 考
同	字南本町	砂川町女子青年團砂川支部	五〇〇	
同	上砂川小學校	職員 生徒 一同	六七一	
同	字北本町山根ミツ方	女 給 一 同	一〇九六	
九、八	字奈井江	砂川町女子青年團第七區支部	五〇〇	
九、九	上砂川鶴青年學校	生 徒 一 同	一〇一七	
同	瀧川 町	瀧川 高等女學校 校長	二五〇	
同	字砂川	砂川 料理店 組合	二二〇	
同	字鶴	砂川町女子青年團鶴支部	五〇〇	
同	字燒山	砂川 分會 燒山 班	二五〇	
九、一一	砂川小學校兒童	三野登美子 外二〇人	二五〇	
同	燒山小學校兒童	千 成 哲 夫	二〇〇	
同	砂川小學校兒童	木 田 靜 子	一五〇	
九、一三	砂川小學校兒童	三 浦 功 外六人	五四	
同	字奈井江	砂川町青年團第十五區支部	三八〇	
同	同	砂川町女子青年團第十六區支部	五〇〇	
九、一六	字北本町	酒 井 又 藏	三五五	
同	上砂川鶴小學校	木 下 敏 夫	二〇〇	
同	字奈井江	砂川町青年團第十八區支部	二五五	
同	字鶴	砂川町青年團鶴支部	六三五	
同	字二十區	佐 藤 松 太 郎	三〇〇	
同	字富平	砂川町女子青年團富平支部	五〇〇	
同	同	富平青年學校生徒一同	五〇〇	
同	同	富平 婦 人 會	五〇〇	
同	同	砂川町女子青年團一ノ澤支部	二五〇	

(四) 軍用燕麥ノ献納

支那事變ニ活動スル軍馬ノ勞ヲ慰ムルタメ燕麥ノ献納ヲ計畫シ區長或ハ農事實行組合長ノ努力ニ依リ左記ノ如ク献納スル
事ヲ得タルハ欣快トスル所ナリ

献納代表者名	數量	献納代表者名	數量
第四區 朝倉 勝 松 外四十五名	三五俵	第五區ノ一農事實行組合 内田 一 馬 外十二名	八俵
第十九區三、農事實行組合 關 澤 三 郎 外十二名	八	第五區ノ二 同 東海林 林 藏 外十六名	九
第二區二、同 射水 一 太郎 外二十八名	六	第五區ノ四 宮下 石 太郎 外十五名	一二
第五區第六 千葉 興 三 松 外 一	一	第十二區 北野 榮 藏 外三十九名	一七
第九區鶴農事實行組合 山 内 喬 外	二〇	第十一區 松本 要 藏 外	一一
第十九區ノ二 同上 三上 千代 松 外七名	六	第二區第三實行組合 伊藤 長 次 郎 外	二
第十九區ノ一 深田 佐 一 郎 外十七名	六	第八區 中村 小 左 外六十五名	六〇
第二十一區 南 出 喜 作 外二十七名	一七	第十區 國兼 治 助 外三十三名	二六
第十五區 戸澤 美 代 藏 外六十八名	四三	計	二八七俵

(五) 献金 美談

今次支那事變勃發スルヤ町民ノ熱誠溢ル、ガ如ク國防献金、恤兵慰問献金、義捐献金ト現ハレタル狀況ハ前記ニ掲記シタル處ナルモ其ノ内容ヲ見ルニ孰レモ美ハシキ動機ニヨリ献金セラレタルモノナリ其ノ詳細ハ記述シ得ベクモナクレドモ茲ニ之ガ概況ヲ記セントス

1. 國防 献金

加藤春藏君ハ昭和〇〇年〇月歩兵第〇〇聯隊ニ勇ンデ應召入隊シタルモ數年前ヨリ眼疾ニテ視力充分ナラザルタメ即日歸郷トナリタリ
出發ニ當リ若干ノ錢別アリタルヲ歸郷ト共ニ之ヲ國防費トシテ献金シタリ

2. 恤兵 慰問 金

次男正二郎應召シタル處即日歸郷トナリタルタメ何等カノ方法ニテ御奉公セント金貳拾圓献金シタリ
其他學童ノ小遣錢、花賣、納豆賣、廢品賣却ニ依ル等ノ献納ハ枚舉ニ暇ナシ

3. 義 捐 献金

長男軍人トシテ御奉公出來ザルヲ痛ク遺憾トシ金參百圓献金ス
其他學童ノ美ハシキ献金ハ枚舉スベクモナシ

砂川町字北本町 前 谷 吉 三 郎
砂川町字上砂川 沈 龍 河
同 進 藤 壯 雄
砂川青年學校生徒 小 山 正 一 外十六人
砂川町字北本町 阿 部 光 三
動員下令ニヨリ應召シ殘留部隊トナリ勤務シアリタル處召集解除トナリタルタメ歸郷シタルモ態。銃後後援ニ盡力セ
ンコトヲ念トシ五十圓献金ス

砂川町北本町山根ミツ方 女 給 一 同
 客ヨリノ心付ケテ蓄積シ置キ金十圓九十六錢献金ス
 其他學童ノ美ハシテ献金ハ枚舉スベクモナシ

十四、銃後後援美談

事變勃發スルヤ町民ノ熱意溢ルガ如ク銃後後援美談トシテ推賞スルニ餘リアルモノ枚舉ニ遑ナキモ其ノ内特ニ左記ノ者ハ後援事業ニ貢献セラレ他ノ範トシテ公表スルニ足ルモノト認メ之ガ狀況ヲ記セントス

(一) 銃後美談

住所 空知郡砂川町字上砂川二十二番地

元 木 シ ノ

砂川町三井鑛業所第二坑探炭夫佐藤力一(假名)ハ豫テ妻ニ死別シ長女チヨ(假名)十二歳ヲ抱ヘ稼働中ナリシガ今次事變起ルヤ歩兵一等兵ナル同人ハ召集令狀ヲ受クルヤ勇躍應召セントセシモチヨヲ託スベキ親戚縁者モナク甚ダ困却シ遂ニハ之ヲ半途退學セシメ子守奉公ニ出シ以テ後顧ノ憂ヲ絶タント決意スルニ至レリ然ルニ近隣之ヲ見テ同情奮然トシテ集リ就中前記元木シノハ國家ノタメ征途ニ上ル軍人ヲシテ後顧ノ憂アラシムルハ近隣ノ恥、銃後ノ恥ナリトシ痛ク兩人ノ身上ニ同情シ力一ノ出征中チヨノ養育ヲ自ラ引受ケンコトヲ申出デ誠意涙ニ出テ懇情切ナルモノアリ同鑛業所側ニテモ其ノ熱誠ニ動かサレ韓庭ノ上方一ヲシテチヨヲ之ニ託セシムルニ至レリ斯クシテ力一ハ元木シノノ誠意ニ深ク感激シ全ク後顧ノ憂ナク益々一死奉公ノ念ヲ強メ勇躍應召シ現在北支戦線ニ在リテ活躍中ナリ

チヨハ爾來元木シノ方ニ同居シ、シノノ肉親モ及バザル愛撫ノ裡ニ何不自由ナク嬉々トシテ通學シ居レリ右ハ稱讚ノ的トナリ近隣ヲシテ銃後ノ奉公ニ萬遺憾ナキヲ期セントスルノ決心ヲ愈々深メシムルニ至レリ

表彰状

砂川町字上砂川二二

元 木 シ ノ 殿

支那事變應召者ニシテ數年前妻ニ死別シ十二歳ノ幼女ヲ抱ヘ出征後ノ養育ニ困却シ居ルヲ知ルヤ痛ク之ニ同情シ進ンデ之ガ養育ヲ申出デ後顧ノ憂ヲ絶テ勇躍壯途ニ上ラシメ爾來肉親モ及バザル愛撫ノ許ニ養護ノ責務ヲ完シ銃後ノ事業ニ貢献セラレタル行爲ハ他ノ模範トシテ推賞スルニ足ル仍テ茲ニ賞品ヲ贈リ之ヲ表彰ス尙一層ノ努力ヲ望ム

昭和十二年六月十二日

砂川町銃後後援會長 砂川町長 佐藤伊久馬

召集ニ關聯スル美談

(一) 應召美談

本籍地 空知郡砂川町字北本町三百八十番地
 現住地 本籍地ニ同ジ

陸軍工兵一等兵 小田中七藏

右ハ昨年八月父ヲ失ヒ若年ニシテ一家ノ柱石トナリ三井物産株式會社砂川製材工場職工トシテ實直ニ奉職母サツ(五十九歳)妻トメ(二十六歳)妹ユキ(二十三歳)ウメ(二十一歳)チヨ(十九歳)ノ家族ヲ養ヒ家業ニ精勵又帝國在郷軍人會砂川分會三井班長トシテ良ク班内ノ會員ノ指導ニ努メ分會事業ニ貢献シ模範會員トシテ奮闘中ノ處不幸妻トメハ本年六月ヨリ腸結核ニテ當町幡病院ニ入院中ナリシガ○月○日工兵第○聯隊ニ召集ヲ令セラレ、ヤ直ニ家事ヲ整ヒ應召準備ヲ了シ愈々出發ノ朝ニナリテ妻トメノ容體急變シ終ニ○月○日午前○時病院ニ於テ死亡セルモ其ノ妻ノ死ヲ顧ミズ後事ヲ親戚知己等ニ託シ豫定ノ時刻ニ出發セントスルヲ友人知己等之ヲ知り出發時刻ヲ繰下ゲ葬儀ヲ了シ出發スル様進メタルモ之ヲ肯ゼズ後事萬端ヲ親戚知己等ニ託シ妻ノ死ヲ顧ミズ豫定ノ時刻ニ出發セリ

十五、國民精神總動員ニ關スル狀況

舉國一致堅忍不拔ノ精神ヲ以テ現下時局ニ對處シ今後持續スベキ時難ヲ克服シテ愈々皇運ヲ扶翼シ奉ル爲メ官民一體トナリ國民精神總動員ヲ實施シ全國的強調ヲ圖ル爲メ強調週間ヲ定メ左記ノ通り之レガ實効ヲ舉グルニ努メタリ

記

第一回國民精神總動員強調週間

月日	目 標	實 施 事 項
十月十三日	時局生活ノ日	各小學校ニ於テ戊申詔書奉讀式ヲ行ヒ校下父兄、男女青年團、國防婦人會員等多數參列學校長ヨリ訓話ヲナシタリ
同 十四日	出動將兵ヘノ感謝ノ日	出征兵家族ニ對シ男女青年團員ヲシテ家事農事ノ援助ヲナサシム
同 十五日	非常時經濟ノ日	全町民ニ對シ國產品愛用強調ノタメ衣食住ニ付經濟事項記入ノパンフレット配付
同 十六日	銃後ノ護リノ日	出征兵家族慰問(役場吏員各種團體協力シ各戸別ニ)
同 十七日	殉國勇士ヲ讃ヘルノ日	各種團體一般町民ハ砂川神社、奈井江神社ニ集合皇軍將兵ノ武運長久ヲ祈願シ滿洲事變及今次事變ニ於ケル死傷者ノ遺族ヲ慰問ス
同 十八日	勤勞報國ノ日	各自職分恪爾ニ努力セシメ能率増進ニ付各工場會社等ニ於テ訓話ヲナサシム
同 十九日	非常時心身鍛練ノ日	青年團、在郷軍人、小學校等ニ於テ武道大會ヲ開催セシメ一般町民ニ對シテハ前月同様ノ行事ヲナサシム

第二回國民精神總動員強調週間

帝國政府ハ我國不動ノ對支方針ヲ中外ニ闡明スベキ歴史的重大聲明ヲ發シテ一層非常時下ニ於ケル國民ノ奮起ヲ冀望スルトコロ有リ依テ國民精神總動員強化ヲ圖リ一層道民ヲシテ刻下時局ニ處スル覺悟ヲ促スタメ事變下ニ於ケル紀元節ヲ機シ國民精神總動員第二回強調週間ヲ實施シタリ狀況左記ノ通り

記

月日	目 標	實 施 事 項
二月十一日	奉國精神昂揚ノ日	各小學校ニ於ケル紀元節拜賀式ニ校下父兄各種團體員ヲ參列セシメ校長ヨリ訓話アリ引續キ建國祭ヲ執行シ本週間實施ノ趣旨ヲ徹底セシメタリ
同 十二日	非常時訓練ノ日	各小學校ニ於テハ今次事變ノ真義ト國民ノ覺悟ニ付訓話ヲナサシム青年團ニ於テハ公共建物ノ徐雪ヲナス一般町民ハ火ノ用心雪害防止ニ付充分ナル注意ヲ促セリ
同 十三日	出動將士ヘ感謝ノ日	出征軍人ニ對シ各別ニ慰問袋、慰問文ヲ發送付(二七九ケ)
同 十四日	勤勞節約ノ日	各小學校ニ於テハ學用品、服裝檢査ヲ行ヒ節約保存上ノ注意訓話ヲナシ校會ノ大掃除、除雪作業、愛國貯金ノ勵行ヲナサシム各團體ハ神社ノ徐雪掃拂ヲ行ヒ愛國貯金ノ勵行ヲナサシム
同 十五日	心身鍛練ノ日	早寢早起ノ勵行、武道練習會、修養會等各部落、各團體ニ於テ適切ナルモノヲ實行セシメタリ
同 十六日	堅忍持久ノ日	日の九時當勵行、必勝ノ信念時難克服ヲ自覺セシムルタメ夫々訓話ヲナサシム心身緊張セル生活、眞剣ナル活動、燃料節約等ヲ實施
同 十七日	祈願ノ日	午前十一時ヲ期シ砂川神社、奈井江神社ニ一般町民各種團體參拜國威宣揚武運長久ノ祈願祭ヲ行フ

- 一、第一、二回ノ週間中各戸國旗ヲ掲揚ス
- 一、各週間ニ於ケル實施目標ヲ印刷シ各戸洩ナク配布ス
- 一、左ノ懸垂幕ヲ作製町内要所ニ掲出セリ

● 舉國一致
國民精神總動員
堅忍持久

町川砂

十六、國民精神總動員健康週間實施ニ關スル狀況

政府ハ現下非常時局ニ對處シ銃後國防ノ萬全ヲ期センガ爲ニハ愈々國民ノ健康ヲ増進シ體位ノ向上ニ努メ以テ人的資源ノ充實ヲ圖ルベク國民精神總動員ノ趣旨ニ則リ官民一體トナリ昭和十三年五月十七日ヨリ同二十三日ニ至ル一週間國民精神總動員健康週間ヲ實施セルコト、ナリ本町ニ於テモ本趣旨ヲ體シ左記ノ通り實施シタリ
其ノ狀況ヲ記セントス

記

一、期 日 自昭和十三年五月十七日 至同二十三日 七日間

一、週間項目

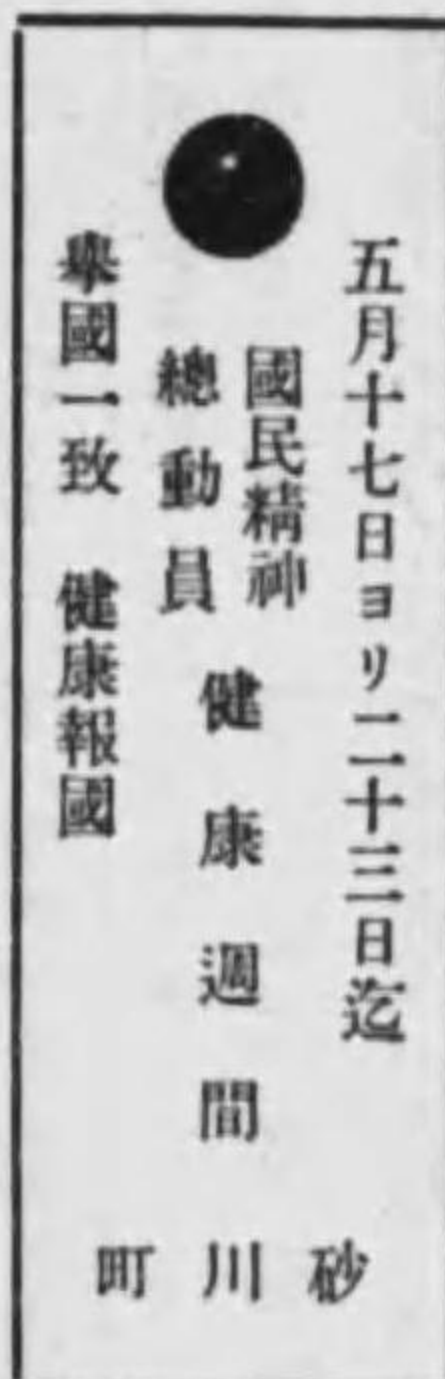
五月十七日	清潔整頓の日	身體は清潔に、住居は明るくし、人寄りの場所は汚さぬ様御互に注意致しませう
十八日	栄養改善の日	お米は七分搗か胚芽米を用ひ偏食せず何でもたべませう
十九日	結核豫防の日	日光の力と清い大氣を充分活用、時々健康相談を受けませう
二十日	チブス豫防の日	注射、内服薬、蠅退治、食物注意等誰でも出来る豫防を實行しませう
二十一日	身心鍛錬の日	頑張りのおきく身體にきたへませう
二十二日	民族浄血の日	處生に氣をつけ、子孫まで禍する病毒を根絶しませう
二十三日	健康感謝の日	皇軍將兵の健康を祈りませう 今日の健康を壽き保健生活を誓ひませう

一、週間中各戸ニ國旗掲揚ス

一、實施項目ヲ印刷シ各戸ニ洩レナク配布ス

一、衛生組合ニ於テハ本期間ニ於テ結核豫防ノ宣傳ヲ爲シタリ

一、左ノ如キ幟、立札、懸垂幕ヲ作製シ町内各所ニ掲出シタリ



十七、國民貯蓄獎勵運動

時局重大ニ鑑ミ政府ハ國民貯蓄獎勵ノ一大國民運動ヲ起シ大體今後一ケ年間ニ八十億程度ヲ目標トシテ國民貯蓄ノ大増加ヲ計ル事ト成リタリ當町モ政府ノ方針ニ依リ詳細ナル計畫ヲ樹立シ一大運動ヲ起シ數度ノ會議ヲ重ネ部落懇談會ヲ開ク等趣旨ノ徹底貯蓄心ノ涵養ニ努メ一戸當リ大體五十圓トシ二十五萬圓ヲ目標トシテ各部落、各實行組合、各團體ハ各戸各人毎ニ責任貯蓄額ヲ決定シ所期ノ目標ニ向ツテ全力ヲ盡シ邁進中ニアリ

十八、物資需給統制

政府ハ長期交戦ニ備ヘルタメ物資ノ需給統制ニ依ル計畫ヲ樹立シ數度ニ涉リ法令ヲ發布シタリ即チ綿及毛製品ノ統制ニ關スルステープルフハイバー混用規則、鐵、鋼、鉛、亞鉛、白金等ノ統制諸規則、皮革及ゴム製品ノ統制諸規則、揮發油、重油等ノ販賣取締規則、物品販賣價格取締規則、暴利取締規則等數多ノ規則ヲ發布セラレタルニ付其都度關係者ニ周知徹底セシメ基礎調査ヲナシ或ハ工業組合加入勸勵スル等國策ニ順應スル様努力シツツ有リ

十九、愛國婦人會ニ關スル事項

- (一) 出征並應召軍人家族慰問
愛國婦人會北海道支部ハ年末慰問ノ爲今次出征並應召軍人家族ニ對シ菓子料ノ贈呈アリ分區職員ハ十二月十三日一齊ニ大澤ミヨ外〇名ニ對シ百七十七圓ヲ贈呈セリ
- (二) 御歌復本額贈呈
畏クモ 皇后陛下ニハ左ノ支那事變戰死又ハ殉職ノ將兵ニ對シ御歌額ノ御下賜アラセラレタルヲ以テ愛國婦人會北海道支部ハ額贈呈セリ

記

戰死年月日	職死者氏名	遺族住所	氏名
昭和十二年九月二十八日	我妻富雄	字北本町	我妻富三
同 十月二十四日	山崎武一	字上砂川	山崎芳正

(三) 短冊門松頒布

愛國婦人會北海道支部ヨリ門松頒布ヲ以テ新年ヲ壽ク我國古來ノ慣習ヲ改メトシ門松ヲ講キタル短冊ノ贈呈アリ、分會ハ之ヲ各方面ニ頒布セル所多大ノ共鳴ヲ得右節約代金トシテ二十五圓二十錢ノ醜出アリタルヲ以テ直子ニ軍事後援資金トシテ支部ニ送達セリ

(四) 慰問袋發送

今次事變ニ際シ分會ハ三月二十九日慰問袋二十個ヲ作製シ第一線將兵ニ夫々發送セリ

(五) 合同慰靈祭參列

五月二十七日札幌市外圓山公園ニ於テ陸軍歩兵中佐岡崎傳之助氏外五百餘柱ノ全道合同慰靈祭施行アリタルヲ以テ當分會ヨリ佐藤モト分會長出席セリ

(六) 弔慰金贈呈

支那事變ニ於ケル左ノ戰死者町葬ニ際シ愛國婦人會北海道支部ヨリ各十圓宛ノ弔慰金贈呈アリ分會長之ヲ奉奠セリ

我妻 富雄 山崎 武一

(七) 見舞金贈呈

日本赤十字社北海道支部ハ本町應召兵家族ニシテ病氣中ノ左ニ對シ夫々見舞金ヲ贈呈セリ

佐藤 ミツコ 小川 サク 中島 スミ 關本 義雄 小川 すえ

(八) 靴 下 贈 呈

愛國婦人會北海道支部ヨリ出征將兵ニ對シ糸毛製靴下ノ慰問品贈呈方依頼アリ分會ハ左ノ通蒐集シ十月二十五日付發送セ
リ

砂川 五〇足 奈井江 四〇足 上砂川 三二足 上砂川三井 五〇足

二十、町内各部落ニ於ケル狀況

銃後後援ニ關シテハ各種團體ヲ統一シ砂川町銃後後援會ヲ組織シ萬遺憾ナキヲ期シツ、アルモ各部落ニ於テモ夫々事業實
施ヲ爲シ銃後後援ノ實ヲ舉ゲツ、アリ
其ノ狀況左ノ如シ

(一) 祈願祭ニ關スル狀況

各區ニ於テ國威宣揚武運長久祈願祭ヲ執行シタル狀況左ノ如シ

部 落	執行回数	出席延人員	備 考
富 平	八	一、九五三	在郷軍人會員、男女青年青員、國婦會員、青年學校生徒、小學校兒童
空 知	一〇	二、二三一	部落民一般
一 澤	一	一、〇五九	同
豐 沼	六	一、四七	同
吉 野	一〇	一、二〇〇	同
鶴 山	三	三五〇	同
燒 山	五	五一〇	同
第 七 區	六	三五〇	同
第 二 區	三	三五〇	同
第 三 區	一	三一	同
第 三 區	一	八〇	同
奈 井 江 全 區	一	三、五〇〇	各部落共催
北 井 光	二	一六〇	同
上 砂 川 三 井	三五	五〇〇	三井鐵業所長、次長、各課坑員、團體代表者
上 砂 川 市 街	一〇	五、三二〇	區役員、消防組、軍人分會、青年團、青年學校、小學校、婦人團體
計	一一一	一七、三八一	其他一般

(二) 勞力援助ニ關スル狀況

出征軍人遺家族ニ對スル區内團體ヨリ勞力援助シタル狀況左ノ如シ

部 落	援 助 團 體	援 助 種 別	戸 數	援 助 日 數	同 實 人 員	同 延 人 員
富 平	農事實行組合	農作播付手傳ヒ 收穫手傳	二	四	二〇	八〇
同	青年團富平支部	同	三	二	一九	一四五
同	女子青年團富平支部	同	二	二	一七	三四
燒 山	農事實行組合	農作播付收穫手傳ヒ	二	二	一七	三〇
同	青年團燒山支部	同	二	五	一七	三〇
同	女子青年團燒山支部	同	一	二	一五	三三
第 一 區	砂川 農事實行組合	石炭取卸及小屋入物品配達 燕麥落シ	一	一〇	一七	五三
同	農事實行組合	同	一	三	一五	六三
同	青年團一ノ澤支部	同	一	二	一五	二三
同	女子青年團一ノ澤支部	小豆蒔	一	一	一五	二三
豐 沼	農事實行組合	農作播付收穫手傳ヒ	一	一	一三	三九
同	青年團豐沼支部	同	一	三	一三	三九
同	女子青年團豐沼支部	同	一	二	一三	三九
吉 野	國防婦人會豐沼班	同	一	二	一三	三九
同	青年團吉野支部	知除草等	一	一	一三	三九
同	女子青年團吉野支部	同	一	一	一三	三九
宮 城 澤	砂川變電所員一同 農事實行組合	苜蓿手傳 取等 知耕シ、燕麥落、除虫菊草	一	一	一三	三九

同	宮城澤部落一同	同	四	九	三〇	三七
同	青年團宮城澤支部	同	四	八	二七	三七
同	女子青年團宮城澤支部	同	四	四	二二	三三
第 十 三 區	農事實行組合	稻蒔	二	六	一九	一〇
同	青年團第十七區支部	水田代カキ	一	一	一〇	一〇
同	女子青年團第十七區支部	農作收穫手傳	一	一	一〇	一〇
第 十 四 區	區 民 一 同	同	一	一	一〇	一〇
第 十 五 區	農事實行組合	同	一	一	一〇	一〇
同	青年團第十七區支部	同	一	一	一〇	一〇
同	女子青年團第十七區支部	洗濯裁縫	一	一	一〇	一〇
第 二 十 三 區	國防婦人會砂川班	同 及草取	一	一	一〇	一〇
同	區 民 一 同	同	一	一	一〇	一〇
北 光	在郷軍人分會	同	一	一	一〇	一〇
同	女子青年團北光支部	農事手傳	一	一	一〇	一〇
同	男子青年團北光支部	同	一	一	一〇	一〇
上 砂 川 三 井	在郷軍人三井分會	除雪、煙筒掃除、石炭運搬	一	一	一〇	一〇
同	青年團上砂川支部	同	一	一	一〇	一〇
上 砂 川 市 街	計	除雪作業	一	一	一〇	一〇
計			四三六	五五四	一、六六七	七、六七二

(三) 部落費減免ニ關スル狀況

區民全員ヨリ部落費ヲ徵收シツ、アル區ニ於テ出動將兵遺家族ニ對シ之レガ徵收ヲ減免シタル狀況左ノ如シ

部落	戶數		金額	戶數		金額	備考
	減	除		免	除		
富平	1	150	1	2	680		
燒山	16	1300	6	2	200		
宮澤	6	690	6	7	720		
砂川	6	690	6	10	1020		
住組	6	690	6	3	300		
第十區	2	600	4	5	450		
第十一區	2	600	4	8	800		
上砂川市街	25	2640	8	35	3550		
計							

(四) 慰問袋發送ニ關スル狀況

出動將兵ニ對シ區内各種團體ヨリ慰問袋發送シ慰問シタル狀況左ノ如シ

部落	發送團體名	發送回数	同上ヶ數	同上見積金額	備考
青年團	青年團富平支部	2	8	625	

部落	發送團體名	發送回数	同上ヶ數	同上見積金額	備考
空太	女子青年團富平支部	2	5	480	
燒山	富平小學校同窓會	1	3	440	
燒山	空知太區民一同	1	4	440	
燒山	女子青年團空知太支部	1	5	480	
燒山	燒山部落民一同	2	6	600	
燒山	國防婦人會燒山班	2	8	800	
燒山	青年團燒山支部	2	7	750	
燒山	女子青年團燒山支部	2	5	480	
燒山	部落民一同	2	4	400	
燒山	青年團一ノ澤支部	2	4	400	
燒山	女子青年團一ノ澤支部	2	6	620	
燒山	砂川鐵道俱樂部	2	8	800	
燒山	第七區民一同	2	4	400	
燒山	三井物產砂川製材合板工場	2	1	150	
燒山	三井物產砂川製材合板工場	2	1	150	
燒山	農事實行組合	1	5	500	
燒山	豐沼各種團體合同	3	6	630	
燒山	國防婦人會吉野班	2	4	400	
燒山	青年團吉野支部	3	1	190	
燒山	宮城澤部落民一同	4	3	300	
燒山	國防婦人會宮城澤班	1	6	600	
燒山	女子青年團宮城澤支部	1	1	100	
燒山	青年團	2	2	200	

砂川市街	女子青年團鶴支部	一	二〇	三
同	第二十三區	一	一〇	二
同	第二十八區	一	二	三
同	第三十二區	一	三	四
同	第三十三區	一	四	五
同	第三十五區	一	五	六
同	第三十三區	一	六	七
同	第十四區	一	七	八
同	第十五區	一	八	九
同	第十六區	一	九	〇
同	第十七區	一	〇	一
同	青年團第十六區支部	一	一	二
同	青年團第十七區支部	一	二	三
同	女子青年團第十七區支部	一	三	四
同	國防婦人會第十七區班	一	四	五
同	奈井江婦人會	一	五	六
同	女子青年團第十八區支部	一	六	七
同	奈井江國防婦人會	一	七	八
同	第三區	一	八	九
同	女子青年團北光支部	一	九	〇
同	在郷軍人三井分會	一	〇	一
同	國婦三井分會	一	一	二
同	上砂川市街銃後後援會	一	二	三
同	上砂川消防組	一	三	四
計		一	二	三

同	軍人分會上砂川班	一	二〇〇	二
同	國婦上砂川班	一	八五〇	三
計		一	一〇五〇	五

(五) 慰問作品發送ニ關スル狀況

1. 本町出身出動將兵ニ對シ各學校、男女青年團ヨリ慰問文其他ノ作品ヲ發送シ慰問ニ努メタルモ其ノ狀況左ノ通りナリ

學校名	慰問		書		方		圖		其		他	
	發送回数	發送點數	發送回数	發送點數	發送回数	發送點數	發送回数	發送點數	發送回数	發送點數	發送回数	發送點數
砂川尋常高等小學校	八	五六〇	六	五五〇	六	四八〇	二	一〇四	二	一〇四		
奈井江尋常高等小學校	三	二五〇	三	二二二	三	三〇八	二	一四八				
上砂川鶴村尋常高等小學校	九	二二八	六	六〇	三	二二二	六	一八				
空知太尋常高等小學校	六	一一〇	六	六〇	六	四〇						
北光尋常高等小學校	一〇	一〇〇	一〇	四〇	一〇	四〇						
常平尋常小學校	六	二八六										
燒山尋常小學校	八	二二四										
一ノ澤尋常小學校	一〇	一八二										
白山尋常小學校	三	三										
宮城澤分敷場	一〇	二〇										
上砂川尋常高等小學校	二	九六九										
計	八四	二、八四三	四〇	一、九五八	四五	二、〇一二	一四	七二〇	二	九八九		

2. 青年學校

備考	學校名	慰問		書		力		圖		其	
		發送回数	發送點數	發送回数	發送點數	發送回数	發送點數	發送回数	發送點數	發送回数	發送點數
	砂川青年學校	三	四	一	一	一	一	一	一		
	奈井江青年學校	四	一八〇	一	一	一	一	一	一		
	上砂川青年學校	五	二八	一	一	一	一	一	一		
	富平青年學校	六	六〇	一	一	一	一	一	一		
	北光青年學校	六	二四	一	一	一	一	一	一		
	空知太青年學校	六	六〇	一	一	一	一	一	一		
	私立三井鑛業所青年學校	六	二四	一	一	一	一	一	一		
	計	二四	三九六	七	一五	七	一六	六	六	六	六

3. 男女青年團

支部名	男子青年團		女子青年團		支部名	男子青年團		女子青年團	
	發送回数	發送點數	發送回数	發送點數		發送回数	發送點數	發送回数	發送點數
富平	七	四九	二	四	宮城	七	一三五	二	四
北光	五	八〇	四	九	豊沼	八	三九六	一	一
一ノ澤			一〇	四	三	三八	四七八	一〇	二〇
燒山			七	五	計	七	一〇三九	七	四三三
上砂川			二	四					

(六) 部落團體慰問文發送狀況

出征將兵ニ對シ區内各團體ヨリ慰問文等發送シタル狀況左ノ如シ

(小學校、男女青年團ハ除ク)

部落	發送團體	種類	發送回数	發送點數	備考
空知太	第二區代表 下牧 藤吉	慰問文	二	五〇	
空知太	國防婦人會 空知太班	慰問文	二	三〇	
一ノ澤	空知太産業組合長	慰問文	二	四〇	
一ノ澤	農事實行組合	慰問文	三	三七	
一ノ澤	國防婦人會 一ノ澤班	慰問文	二	六	
豊沼	豊沼部落 一ノ澤代表	慰問文	二	一六〇	
豊沼	在郷軍人分會 豊沼班	慰問文	二	二八	
宮城澤	國防婦人會 豊沼班	慰問文	二	二八	
宮城澤	宮城澤區民 一ノ澤班	慰問文	二	二二	
第七區	國防婦人會 宮城澤班	慰問文	三	一六	
第七區	第三井物産株式會社	慰問文	二	二	
第七區	砂川製材株式會社	慰問文	二	一〇	
第十六區	第十六區民 一ノ澤班	慰問文	五	二五	
第十六區	青年團 第十六區支部	慰問文	三	一三	
第十六區	三井砂川鑛業所 次長	慰問文	二	二	
第十六區	三井砂川鑛業所 親和會長	慰問文	二	四〇〇	
第十六區	三井砂川鑛業所 軍人分會長	慰問文	二	四〇〇	
第十六區	三井砂川鑛業所 國防分會長	慰問文	二	八〇〇	
第十六區	砂川新聞月三回發送	慰問文	四	八〇〇	

上砂川市街	上砂川銃後後援會	同	一	二〇
同	上砂川消防組	同	一	一〇
同	軍人分會	同	五	六五
計	上砂川班			

(七) 遺家族慰問ニ關スル狀況

遺家族慰問ニ付テハ銃後後援會ト各區ト連絡ヲ保チ慰問ニ努メツ、アル處ナルモ區内團體ニ於テ實施シタル狀況左ノ如シ

部	富	空	一	燒	第	第	登
富平	同	同	同	同	同	同	同
知	同	同	同	同	同	同	同
太	同	同	同	同	同	同	同
澤	同	同	同	同	同	同	同
山	同	同	同	同	同	同	同
區	同	同	同	同	同	同	同
沼	同	同	同	同	同	同	同
富平區民	一	同	同	同	同	同	同
在郷軍人	富平班	同	同	同	同	同	同
國防婦人會	富平班	同	同	同	同	同	同
青年團	富平支部	同	同	同	同	同	同
青年學校	小學校	同	同	同	同	同	同
區民	代	表	同	同	同	同	同
男女青年團	空知太支部	同	同	同	同	同	同
國防婦人會	空知太班	同	同	同	同	同	同
男女青年團	一ノ澤支部	同	同	同	同	同	同
國防婦人會	一ノ澤班	同	同	同	同	同	同
國防婦人會	燒山班	同	同	同	同	同	同
女子青年團	燒山支部	同	同	同	同	同	同
青年團	燒山支部	同	同	同	同	同	同
砂川	砂川會	同	同	同	同	同	同
國防婦人會	砂川班	同	同	同	同	同	同
三井物產株式會社	同	同	同	同	同	同	同
三井物產砂川工場	同	同	同	同	同	同	同
從業員部	同	同	同	同	同	同	同
豐沼部	同	同	同	同	同	同	同
回数	九	四	四	四	四	四	三
延戸數	三五	一六	一六	一六	一六	一四	二
慰問金	九〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	一四〇〇
慰問品種別點數							

兒童雜誌菓子等 一、五〇錢

上砂川市街	同	同	同	同	同	上砂川三井	同	第十八區	同	第十七區	第十六區	第十五區	砂川	同	同	同	宮城澤	吉野									
上砂川市街	上砂川	同	同	同	同	砂川	奈井江	奈井江	國防婦人會	男女青年團第十七區支部	區代	男女青年團第十六區支部	區代	第二十二區陸親講	國防婦人會	宮城澤支部	女子青年團	宮城澤支部	青年團	宮城澤支部	宮城澤區民代表	同	國防婦人會	在鄉軍人分會	女子青年團	青年團	
銑後後援會	小學校	男女青年團	國婦分會	軍人分會	親和會	鑛業所	婦人會	婦人會	婦人會	支部	表	支部	表	親講	班	支部	支部	支部	支部	支部	班	班	支部	支部	支部	支部	支部
七三	八六	一四九六	一四九六	一四九六	二七二	二七二	九三	一六	二四	一四四	四八	二〇	二四	四四	一一	一五	二一	二一	二一	二一	九	二九	四三	四三	四三	三三	三三
二五五〇〇						四六〇〇	三三〇五				三五〇〇				五〇〇	八四〇	六〇〇	八四〇									
							餅米各戶三升宛																				
							同																				

計	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
青年團	女子青年團	國婦上	軍人分會	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部	上砂川支部
二四六	四	五	五	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
七、二一五	七〇	九三	九〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇
一、〇五四六五		一五〇〇																										

(八) 病氣見舞ニ關スル狀況
 出征軍人遺家族ニシテ病氣ニ患リタルモノニ對シ各區内ヨリ見舞シタル狀況左ノ如シ

部	部落	見舞實施團體	見舞シタル戸數	同上患者	見舞金	備	考
富	富平	富平區民一	一	一	二〇〇		
燒	燒山	國防婦人會燒山班	一	二	三〇〇		
第	第七區	三井物産砂川工場	一	一	三〇〇		
豐	豐沼	豐沼住民組合	一	四	八〇〇	其他三〇圓	
吉	吉野	國防婦人會吉野班	一	二	一五〇	其他果物類	
宮	宮城	青年團吉野支部	一	二	三〇〇		
奈	奈井	實行組	一	一	一〇〇		
上	上砂川	奈井江國防婦人會	一	二	二〇〇		
上	上砂川	第十五區代表	一	一	二〇〇		
計	計	砂川鐵業所、同親和會	一	一	一〇〇		
		上砂川市街 銃後後援會	二	六	六〇〇		
			二	五	三六五〇		

(九) 出征軍人遺家族敬弔ニ關スル狀況
 出征軍人遺家族ニシテ死亡者アリタル際區内團體ヨリ敬弔シタル狀況左ノ如シ

部	部落	實施者	敬弔數	同上金額	備	考
豐	豐沼	豐沼住民組合	四	六〇〇		
同	同	國防婦人會	四	二〇〇		
同	同	在郷軍人砂川分會豐沼班	四	二〇〇		
同	同	青年團豐沼支部	四	二〇〇		
同	同	女子青年團豐沼支部	四	二〇〇		
同	同	農事實行組	四	二〇〇		
燒	燒山	燒山部落一	三	六〇〇		
同	同	國防婦人會燒山班	三	二〇〇		
同	同	女子青年團燒山支部	三	二〇〇		
吉	吉野	國防婦人會吉野班	一	一〇〇		
同	同	青年團吉野支部	一	一五〇		
第	第十六區	第十六區男女青年團支部	一	二〇〇		
同	同	第十七區男女青年團支部	一	二〇〇		
第	第十七區	第十七區男女青年團支部	一	二〇〇		
奈	奈井	在郷軍人會奈井江分會	一	五〇〇		
同	同	國防婦人會奈井江分會	一	五〇〇		
上	上砂川	砂川鐵業所	一	一、三〇八		
同	同	親和會	一	一九〇〇		
			一	一五〇〇		

部落ニ於ケル壯行會ノ狀況左ノ如シ

(一) 部落壯行會ニ關スル狀況

部落	開催回数	参加人員	経費	備考
富平	五	四〇五	一三四〇〇	
空知	三	二一〇	六三〇〇	
焼山	五	二九二	一〇二二〇	
第一区	二	一一七	四〇〇	
第一区	二	一三五	五五四〇	
第一区	六	九五三	三三八四〇	
第七区	七	一五〇	七五〇〇	
吉野	三	二六〇	六〇〇〇	
宮野	三	二五六	九五三〇	
第二十七区	一	二四〇	二〇〇〇	
第二十七区	一	四〇五	五〇〇〇	
第三十二区	一	五〇	六五〇	
第三十八区	一	三八	三〇〇	
北井江全部	一	二、二六二	六七二七五	各部落共催
北井江全部	一	五〇	一五〇〇	
上砂川三井	三	一、七五〇	七〇〇〇	
上砂川三井	二	一、一五〇	一、三〇〇〇	
上砂川三井	二	八、三六三	二、八九五五	

(二) 出征應召ニ關スル狀況

部落	歡送回数	延送人員	参加者	延人員
富平	五	一、二八六	男女青年二八三	軍人分會五〇 國婦二三九
空知	三	四五〇	小學校、國婦、男女青年團支部、郷軍分會員等	部落一般三一九
焼山	七	二、一三三	同	小學校三九五
第一区	七	五二〇	同	
第一区	六	三三〇	同	
第一区	七	六〇六	同	
第一区	七	三三〇	同	
第一区	七	二、一〇〇	同	
第一区	七	三三〇	同	
第一区	七	三八〇	同	
第一区	七	五八〇	同	
第一区	五	一五〇	同	
第一区	五	二、五〇〇	同	
第一区	三	三六、一〇〇	同	
第一区	五	二〇〇	同	
第一区	二	一五、六〇〇	同	
第一区	三	三三、〇〇〇	同	

(一三) 錢別贈呈狀況
 出動將兵ニ對シ區内團體ヨリ錢別贈呈シタル狀況左ノ如シ

部 落	團 體	贈呈者數	金 額	備 考
富 平	區 代 表	五	五〇〇	
空 知	青年團 富平支部	三	三〇〇	
燒 山	軍人分會 富平班	二	二〇〇	
一 六	各 團 體 合 同	九	三〇〇	
豐 沼	同 同	六	三〇〇	
吉 野	同 同	八	三〇〇	
宮 城	同 同	九	四〇〇	
鶴 澤	同 同	六	一三五〇	
第 二 七 區	同 同	七	二〇〇	
第 三 二 七 區	同 同	七	七五〇	
第 三 三 二 區	代 表	一	一〇〇	
第 三 三 三 區	同 同	三	三五〇	
第 三 三 四 區	同 同	一	一〇〇	
第 三 三 五 區	同 同	四	二二三〇	
奈 井 全 區	各 團 體 合 同	六	三三四〇	
第 十 五 區	區 內 代 表 合 同	七	四三〇〇	
第 十 七 區	同 同	四	二〇〇〇	
計		一、〇三三	九、五一三〇	

部 落	團 體	贈呈者數	金 額	備 考
第 十 六 區	親 業 會 所	四	八〇〇	
上 住 砂 民 川 十 組 本 町 區	同	四	九八〇	
上 砂 川 三 井	親 和 會 會 所	二	五、八六〇	
上 砂 川 市 街	軍 人 分 會	二	一、一五〇	
同	上 砂 川 市 街 銃 後 後 援 會	三	四八六〇	
同	第 二 十 二 區 ヲ リ	三	一四〇〇	
同	消 防 組	五	六〇〇	
同	軍 人 分 會 上 砂 川 班	六	二五〇〇	
同	青 年 團 上 砂 川 支 部	四	六〇〇	
同	上 砂 川 鶴 野 青 年 學 校	六	一、二〇〇	
計		一、〇三三	九、五一三〇	

(一四) 戦傷病兵見舞ニ關スル狀況
 区内出身者ニシテ戦傷病兵アリタル場合見舞シタル狀況左ノ如シ

部 落	被 見 舞 者 數	見 舞 金 額	其 他	備 考
燒 山	一	五〇〇		
吉 野	一	三三〇		
第 二 十 三 區	一	五〇〇		
第 三 十 四 區	一	一五〇		
第 十 六 區	一	三〇〇		
第 十 八 區	三	九〇〇		
上 砂 川 三 井	一	一九〇〇		

(一五) 軍隊慰問ニ關スル狀況
 應召軍人出發前各區ニ於テ衛戍地ニ出向シ慰問シタル狀況左ノ如シ

部 落	慰 問 回 數	實 施 者	慰 問 經 費	備 考
富 平	二	區 代 表、青 年 團 代 表	二九一〇	
空 知	一	男 子 青 年 代 表	五〇〇	
一 澤	一	同	五〇〇	
豊 沼	八	區 代 表、軍 人 分 會 代 表、 男 女 青 年 代 表、國 婦 代 表	八五五四	
第 十 六 區	二	青 年 分 會、代 表	七〇〇	
第 十 八 區	七	後 援 會、商 工 會 代 表	三八〇〇	
計	二〇		一六九六四	

384
533

昭和十三年十一月五日印刷
昭和十三年十一月八日發行

非賣品

發行所 北海道空知郡砂川町役場

印刷人 藤田正重
札幌市北三條西二丁目一番地

印刷所 藤田印刷所
札幌市北三條西二丁目一番地

終

